

庄内地域の概況

令和6年度版



県内唯一の有人離島「飛島」(酒田市)

山形県庄内総合支庁

目 次

庄内の主要指標	1
庄内地域の由来	2
1 地勢・気象	3
2 人口	4
3 生活	6
(1) 火災発生状況 (2) 自然災害発生状況 (3) 交通事故発生状況 (4) 県税の調定額と収入額	
4 市民活動	10
5 保健医療	13
(1) 死因別の死亡状況 (2) がん検診の状況 (3) 医療施設数及び病床数の状況 (4) 医療従事者の状況	
6 福祉	15
(1) 介護保険・介護サービス (2) 障がい福祉	
7 児童	17
(1) 子育て支援 (2) 子どもの居場所	
8 文化	18
(1) 文化財 (2) 国際交流	
9 産業	22
(1) 産業構造 (2) 農業 (3) 林業 (4) 水産業 (5) 工業 (6) 商業 (7) 労働 (8) 観光 (9) 「食の都庄内」づくり	
10 交通基盤	32
(1) 道路 (2) 鉄道 (3) バス (4) 港湾 (5) 空港	
11 河川・海岸・砂防	38
(1) 河川 (2) 海岸 (3) 砂防 (4) ダム	
12 住宅	42
(1) 新設住宅の状況 (2) 公営住宅の整備状況	
13 下水道	43
14 環境	44
(1) 自然 (2) 大気・水環境 (3) 廃棄物・リサイクル (4) 再生可能エネルギー	
15 教育	51
16 庄内地域の発展方向	53
17 管内市町一覧	55
18 年表	58

庄 内 の 主 要 指 標

項 目	年次	単位	山形県 ①	庄 内 ②	鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町	全県比 ②/①	全 国	
面積	R4.10.1	k m ²	9,323	2,405	1,312	603	33	249	208	25.8%	377,976	
人	総人口	R5.10.1	千人	1,026.2	251.4	117.0	96.0	7.3	18.9	12.2	24.5%	124,352
	世帯数	R5.10.1	世帯	401,582	98,971	45,975	39,641	2,374	6,609	4,372	24.6%	(R5.1.1)60,266,318
就業人口	計	R2	千人	562.5	138.1	64.7	51.8	4.0	10.8	6.8	24.6%	65,468
	第1次産業	R2	千人	48.7	13.3	5.9	4.3	0.6	1.3	1.1	27.3%	2,128
	第2次産業	R2	千人	160.6	38.7	19.0	13.5	1.2	3.2	1.8	24.1%	15,317
	第3次産業	R2	千人	353.1	86.1	39.8	34.0	2.2	6.3	3.8	24.4%	48,024
農林水産業	農家数	R2	戸	39,628	8,823	4,238	2,393	435	946	811	22.3%	1,747,079
	基幹的農業従事者数	R2	人	39,034	9,805	4,640	2,789	494	1,216	666	25.1%	1,363,038
	水稲作付面積	R4	ha	61,500	25,700	10,700	7,100	1,680	4,240	1,980	41.8%	1,355,000
	農業産出額	R4	億円	2,394	632	278	192	28	85	49	26.4%	90,147
	生産農業所得	R4	億円	817	—	—	—	—	—	—	—	31,826
	林野面積	R4	千ha	671.1	162.2	96	37	—	15	14	24.2%	25,048
	素材生産量	R3	千m ³	527	120	—	—	—	—	—	22.8%	21,847
	海面漁業生産額	R4	億円	24	24	—	—	—	—	—	100.0%	9,136
工業	製造業事業所数	R4	事業所	2,701	600	291	204	24	50	31	22.2%	222,770
	製造業従業者数	R4	人	98,272	22,336	12,154	7,936	771	962	513	22.7%	7,714,495
	製造品出荷額等	R4	億円	30,239	7,358	4,559	2,315	191	152	141	24.3%	3,302,200
	付加価値額	R4	億円	11,177	3,915	2,915	835	51	50	63	35.0%	1,066,140
商 業	商店数	R3	店数	12,793	3,391	1,553	1,394	129	183	132	26.5%	1,228,920
	従業者数	R3	人	88,089	21,821	9,395	9,543	1,289	929	665	24.8%	11,397,130
	卸売業年間販売額	R3	億円	12,998	2,405	794	1,204	253	108	46	18.5%	4,016,335
	小売業年間販売額	R3	億円	11,966	2,845	1,199	1,224	214	124	84	23.8%	1,381,804
そ の 他	労働時間 (事業所規模30人以上)	R4	時間/月	154.8	—	—	—	—	—	—	—	143.2
	現金給与総額 (事業所規模30人以上)	R4	円/月	323,676	—	—	—	—	—	—	—	379,732
	道路改良率	R5.4	%	89.9	93.4	—	—	—	—	—	—	(R4.3) 77.9
	道路舗装率	R5.4	%	92.6	94.3	—	—	—	—	—	—	(R4.3) 74.8
	生活排水施設普及率	R5.3	%	94.2	97.5	96.3	98.6	100.0	99.5	96.1	—	(R5.3) 92.9
	高校進学率	R5.3	%	99.2	99.5	99.3	99.8	98.5	99.5	100.0	—	98.7
	大学等進学率	R5.3	%	48.8	46.1	47.4	47.5	—	16.0	32.0	—	60.8
	高校新規学卒県内就職率	R5.3	%	79.5	71.1	76.9	61.5	—	75.0	85.7	—	82.0

資料:山形県の概況、山形県勢要覧、山形県統計年鑑、山形県の工業、農林業センサス、東北農林水産統計年報ほか

注:単位未満四捨五入のため、各数の計は合わない場合がある。「—」については、該当数値なし。

大学等進学率及び高校新規学卒県内就職率については、学校所在地の区分によるものである。

庄内地域の由来

山形県の日本海に面したこの地域一帯を称する「庄内」または「荘内」という地名の起こりは、中世この地域にあった荘園の一つである大泉荘（鶴岡市を中心とした地域）の内側を指した呼称、「大泉荘内（庄内）」に由来すると言われている。

< 参 考 >

「庄内」の地名の由来に関する記述

“中世この地域には遊佐、大泉、櫛引の三大荘園があったという。このうち最も栄えたのが大泉荘であり、この荘園の内側、すなわち大泉荘内をもって、近世、この地方全体をさすようになったという。「荘内（庄内）」はこの略称と言われる。”

（庄内開発協議会『庄内探訪』より）

“山形県の日本海側一帯を指す。県域を置賜、村山、最上、庄内と四区分した際の呼称にもなっている。東を出羽山地で画し、北は鳥海山、南は朝日山系に囲まれた平野部である。

平安時代の末期、赤川流域に広がる旧鶴岡、藤島、三川、羽黒、櫛引などの市町は、大泉荘（庄）と呼ばれ、後白河法皇の所有する荘園であった。庄内とは、この大泉荘の「内」、あるいは「中」の意と言われている。

鎌倉時代になると、武蔵国から武藤二郎氏平が地頭として入部し、荘園を管理する。室町期初め後小松天皇の代まで、皇室領として領有されてはいたが、武藤氏は、荘園、周囲の平野部を次々と領国化していった。その領国を庄内と呼ばれていったらしい。

戦国の世が過ぎ、1622（元和8）年には酒井忠勝が庄内 13 万 8 千石で入国。酒井家は幕末まで、この地を治めた。庄内平野の美田は、酒井家の治世、庄内藩時代に、その礎をなしている。”

（平成 18 年 3 月 24 日付 河北新報「とうほく地名の泉」より）

“庄内という地名が通用するようになったのは、荘園の 1 つ大泉荘の地頭に任命された武藤氏の天正年間とみられ、庄内の地名の初見は天正 10（1582）年。庄内藩士・小寺信正が享保年代（1715－1724 年）にまとめた『荘内物語』にある「庄内は大泉荘の内たることに由来する」のが、一応定説としている。

古文書に書かれているのは、圧倒的に「庄」が多く、「荘」はわずかに見られる程度、という。書名（外題）には荘内を使っても本文には庄内を使うケースもあった。〔中略〕最近の例では、庄内地方・庄内平野のように汎地域名を表す場合は庄が使われているが、団体や企業名では荘がかなり多く使われている。”

（庄内日報社ホームページ「『荘内』と『庄内』」より）

1 地勢・気象

庄内地域は、山形県の北西部に位置し、東は月山を中心とする出羽丘陵によって県内陸部と隔てられている。西は日本海に面し、北は鳥海山が秋田県との境を、南は朝日山地が新潟県との境をなしている。

面積は2,405k㎡で、県土(9,323k㎡)のほぼ4分の1を占め、神奈川県(2,416k㎡)、佐賀県(2,441k㎡)などとほぼ同じ面積である。最上川、赤川などが注ぐ広大な庄内平野があるため、森林が占める割合が全県の割合よりも低く、逆に、農用地、河川等の面積が全県よりも高くなっている。

気候は、対馬暖流の影響を受けるため内陸部よりも温暖で積雪量も少ないが、年間を通じて風が強く、特に冬は北西の季節風が吹き荒れる。

【表1】土地利用形態別面積及びその構成比(令和4年)

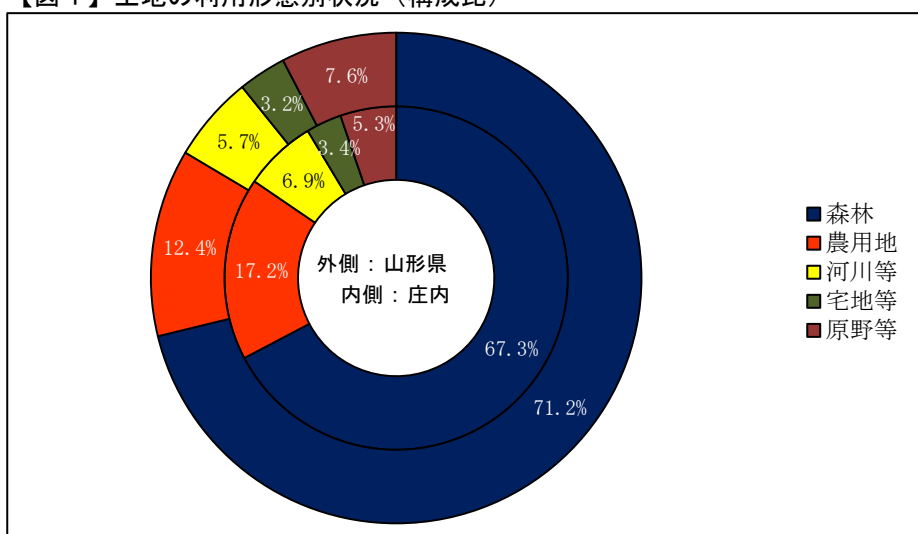
(単位:k㎡、%)

		総計	森林	農用地	水面・河川・水路・道路	宅地・工業用地等	原野・その他
山形県	面積	9,323.1	6,636.7	1,151.9	527.7	295.5	711.3
	構成比	100.0	71.2	12.4	5.7	3.2	7.6
庄内	面積	2,405.3	1,618.3	414.8	165.0	80.7	126.5
	構成比	100.0	67.3	17.2	6.9	3.4	5.3

※小数点第2位以下四捨五入のため、各数の計が合わない場合がある。

資料:「山形県統計年鑑」

【図1】土地の利用形態別状況(構成比)



【表2】県内地域別気象(令和5年)

	平均気温(°C)	降水量(mm)	平均湿度(%)	平均風速(m/秒)	年間日照時間(時間)	積雪最深(cm)
庄内(酒田特別地域気象観測所)	14.6	2,088.0	68	4.0	1,877.9	15
最上(新庄特別地域気象観測所)	12.6	1,879.5	81	2.6	1,573.3	131
村山(山形地方気象台)	13.7	1,176.5	74	1.8	1,893.6	43
置賜(米沢地域気象観測所)	12.6	1,499.5	84	1.3	1,855.4	96

資料:「気象庁ホームページ」

2 人 口

庄内地域の人口は、昭和30年の37万6千人をピークに減少し、昭和55年に一時増加に転じたものの、その後再び減少が続き、令和5年10月1日現在は251,395人で、令和2年に比べ12,009人(4.56%)減少した。

令和5年の出生率は4.9‰で、県平均5.2‰を0.3ポイント下回り、令和2年に比べ0.5ポイント下回っている。

令和5年の65歳以上高齢者人口比率は37.6%で、県平均35.2%を2.4ポイント上回り、令和2年に比べ1.3ポイント上回っている。なお、高齢化の進展を市町別にみると、全ての市町で県平均を上回っており、最も高いのは遊佐町の44.8%である。

【表3】人口及び世帯数等（令和5年10月1日現在）

(単位：人、世帯、%、‰)

	人 口			世帯数	高齢化率 (%)	出生率 (‰)
	総数	男	女			
鶴岡市	117,037	56,378	60,659	45,975	36.7	5.3
酒田市	95,969	46,118	49,851	39,641	37.6	4.8
三川町	7,323	3,556	3,767	2,374	36.6	5.0
庄内町	18,921	9,087	9,834	6,609	39.3	4.0
遊佐町	12,145	5,755	6,390	4,372	44.8	3.1
庄内地域	251,395	120,894	130,501	98,971	37.6	4.9
山形県	1,026,228	497,927	528,301	401,582	35.2	5.2
庄内/県 (%)	24.5	24.3	24.7	24.6	—	—

資料：「令和5年山形県の人口と世帯数」（みらい企画創造部統計企画課）

【表4】人口の推移

(単位：人、%)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和5年
山形県	1,244,147	1,216,181	1,168,924	1,123,891	1,068,027	1,026,228
庄内地域	320,565	309,493	294,143	279,497	263,404	251,395
割合	25.8	25.4	25.2	24.9	24.7	24.4

資料：国勢調査（総務省統計局）、令和5年は「山形県の人口と世帯数」（みらい企画創造部統計企画課）

【表5】出生数の推移

(単位：人、‰)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和5年
山形県	10,919	9,357	8,651	7,865	6,337	5,414
出生率	8.8	7.7	7.4	6.9	5.9	5.2
庄内地域	2,699	2,224	2,085	1,808	1,436	1,250
出生率	8.4	7.2	7.1	6.4	5.4	4.9

資料：国勢調査（総務省統計局）、令和5年は「山形県の人口と世帯数」（みらい企画創造部統計企画課）

【表6】高齢化（65歳以上人口）の推移

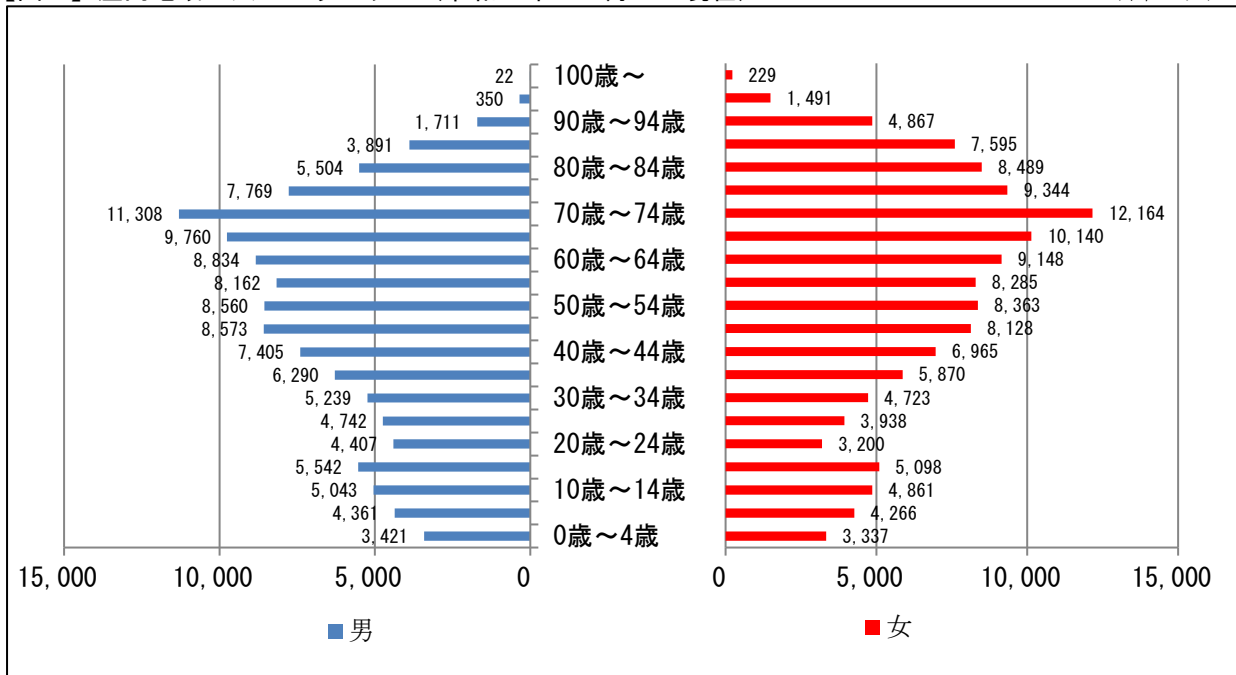
(単位：人、%)

	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和5年
山形県	285,590	309,913	321,722	344,353	360,590	361,165
割合	23.0	25.5	27.6	30.6	34.0	35.2
庄内地域	76,262	82,606	85,593	91,069	94,778	94,634
割合	23.8	26.7	29.1	32.6	36.3	37.6

資料：国勢調査（総務省統計局）、令和2年以降は「山形県の人口と世帯数」（みらい企画創造部統計企画課）

【図2】庄内地域の人口ピラミッド（令和5年10月1日現在）

(単位：人)



資料：「令和5年山形県の人口と世帯数」（みらい企画創造部統計企画課）

3 生活

(1) 火災発生状況

令和5年の管内火災件数は77件、死傷者数は16人であり、昨年より死傷者数は減少したものの、火災件数が8件増加した。また、四季別では春季（3～5）月の発生が多かった。原因別にみると「たき火」によるものが多かった。

【表7】管内市町別 火災発生状況（令和5年）

市町・地域	火災件数			焼損面積		り災世帯 (世帯)	死傷者数 (人)	
	(件)	うち建物	うち林野	うちその他	建物(m ²)			林野(a)
鶴岡市	37	20	1	16	2047	0	16	5
酒田市	27	21	1	5	671	13	11	6
三川町	5	4	0	1	330	0	3	1
庄内町	2	1	0	1	0	0	0	1
遊佐町	6	2	0	4	197	0	1	3
庄内計	77	48	2	27	3245	13	31	16
対前年	111%	97%	100%	150%	88%	86%	72%	69%
令和4年	69	49	2	18	3669	15	43	23

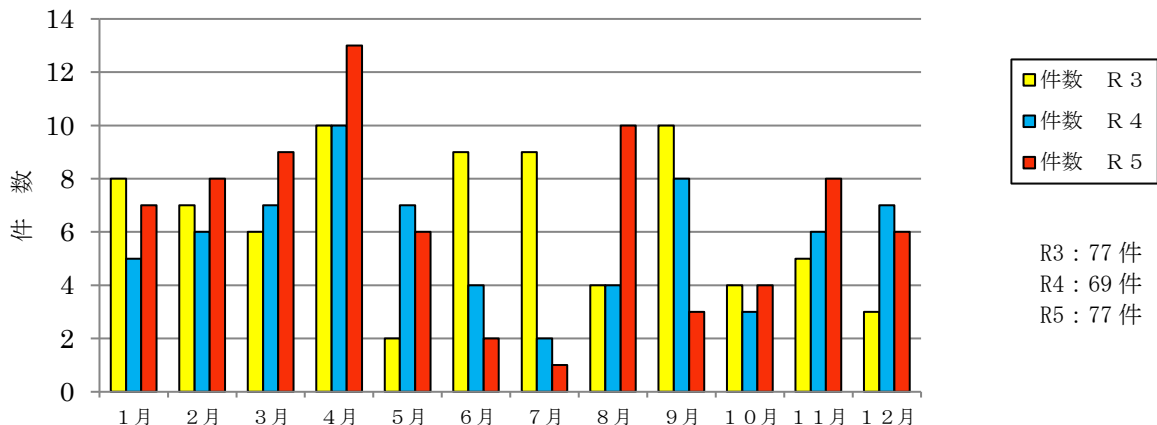
資料：管内消防機関の火災統計より作成

【表8】管内原因別 火災件数

	1位	2位	3位	4位	5位
令和5年	たき火 <9件>	こんろ <6件>	放火の疑い、 たばこ <各5件>	電灯電話等の配線 <3件>	マッチ・ライター、 ストーブ <各2件>
令和4年	ストーブ <9件>	こんろ、電灯・電話 等の配線、たき火 <各5件>	放火 <3件>	灯火(ろうそく)、 たばこ、配線器具 <各2件>	溶接機・溶断機、 電気装置、取灰、 電気機器、放火の疑い <各1件>
令和3年	電灯・電話の配線 <7件>	たき火 <5件>	こんろ、たばこ <各4件>	電気装置、ストーブ、 放火の疑い <各3件>	放火、排気管 <各1件>

資料：管内消防機関の火災統計より作成

【図3】過去3年間の月別火災件数



(2) 自然災害発生状況

令和5年の自然災害による被害は、人的被害2人、住家被害1棟、非住家被害0棟となっている。

【表9】自然災害年報速報

区 分			令和3年	令和4年	令和5年	
人的被害	死 者	人	2	3	0	
	重 傷	人	14	12	1	
	軽 傷	人	18	6	1	
計			34	21	2	
住 家	全 壊	棟	0	3	0	
		世帯	0	3	0	
	半 壊	棟	0	1	1	
		世帯	0	1	1	
	一 部 損 壊	棟	31	3	0	
		世帯	31	3	0	
	床 上 浸 水	棟	0	0	0	
		世帯	0	0	0	
	床 下 浸 水	棟	0	0	0	
		世帯	0	0	0	
	計		棟	31	7	1
			世帯	31	7	1
非 住 家	公 共 建 物	棟	2	0	0	
	そ の 他	棟	14	49	0	
計		棟	16	49	0	

資料：災害年報（管内市町、防災くらし安心部防災危機管理課）

【表10】主な被害額

区 分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
施設被害（公共土木）	千円	6,087	173,117	0
農林水産被害（施設被害含む）	千円	1,475,741	128,959	166,505
※被害額は未確定を含む。		1,481,828	302,076	166,505

資料：農林水産関係被害：庄内総合支庁産業経済部
公共土木被害：同総合支庁建設部

【参考】 各年度の主な災害

令和3年度……大雪、暴風雪

令和4年度……令和4年8月3日からの大雨、鶴岡市西目地内の土砂崩れ災害

令和5年度……能登半島地震、飛島大雪

(3) 交通事故発生状況

令和5年の県内の交通事故発生件数及び負傷者数は前年と比較して減少したが、死者数は34人（前年比8人増）となり、うち高齢者（65歳以上）の死者数が17人で50.0%を占めている。

このうち庄内地域では、交通事故発生件数、死者数及び負傷者数いずれも減少し、死者数は5人（前年比4人減）となっており、うち高齢者の死者数は2人で40.0%を占めている。庄内地域の交通事故死者数は県全体の14.7%を占め、人口比（24.5%）と比較し低くなっている。

【表11】交通事故発生件数・死者数・負傷者数の推移（1/1～12/31）

（単位：件、人）

	県 全 体			庄 内 地 域		
	発生件数	死者数	負傷者数	発生件数	死者数	負傷者数
平成26年	6,426	44(24)	7,811	1,330	9(6)	1,591
平成27年	6,446	57(35)	8,037	1,315	12(6)	1,593
平成28年	6,136	28(15)	7,670	1,234	7(5)	1,470
平成29年	5,816	38(26)	7,244	1,174	12(8)	1,448
平成30年	5,097	51(35)	6,199	1,055	16(10)	1,241
令和元年	4,292	32(22)	5,135	897	7(6)	1,066
令和2年	3,328	30(19)	3,975	739	9(6)	872
令和3年	3,184	24(16)	3,760	701	4(2)	832
令和4年	2,970	26(17)	3,469	619	9(5)	719
令和5年	2,780	34(17)	3,295	570	5(2)	660

※死者数のカッコ内数字は、高齢者の内数。

【表12】交通事故発生件数、死者数、負傷者数の県・庄内地域の前年比較

	発生件数（件）			死 者 数（人）			負傷者数（人）		
	令和5年	令和4年	前年比	令和5年	令和4年	前年比	令和5年	令和4年	前年比
県全体	2,780	2,970	93.6%	34	26	130.8%	3,295	3,469	95.0%
庄内地域	570	619	92.1%	5	9	55.6%	660	719	91.8%
庄内／県	20.5%	20.8%		14.7%	34.6%		20.0%	20.7%	

(4) 県税の調定額と収入額

① 県税決算

- 庄内総合支庁における令和4年度の県税の決算は、調定額 19,537 百万円、収入額 19,311 百万円、収入率 98.8%となっている。

② 調定額

- 令和4年度における調定額の県全体に占める割合は、16.8%である。
- 主要税目別では、調定額(現年度分)順に、個人県民税 7,452 百万円、法人事業税 4,565 百万円、自動車税(種別割) 3,547 百万円、軽油引取税 2,396 百万円、法人県民税 477 百万円、不動産取得税 423 百万円、個人事業税 253 百万円、自動車税(環境性能割) 195 百万円となっている。

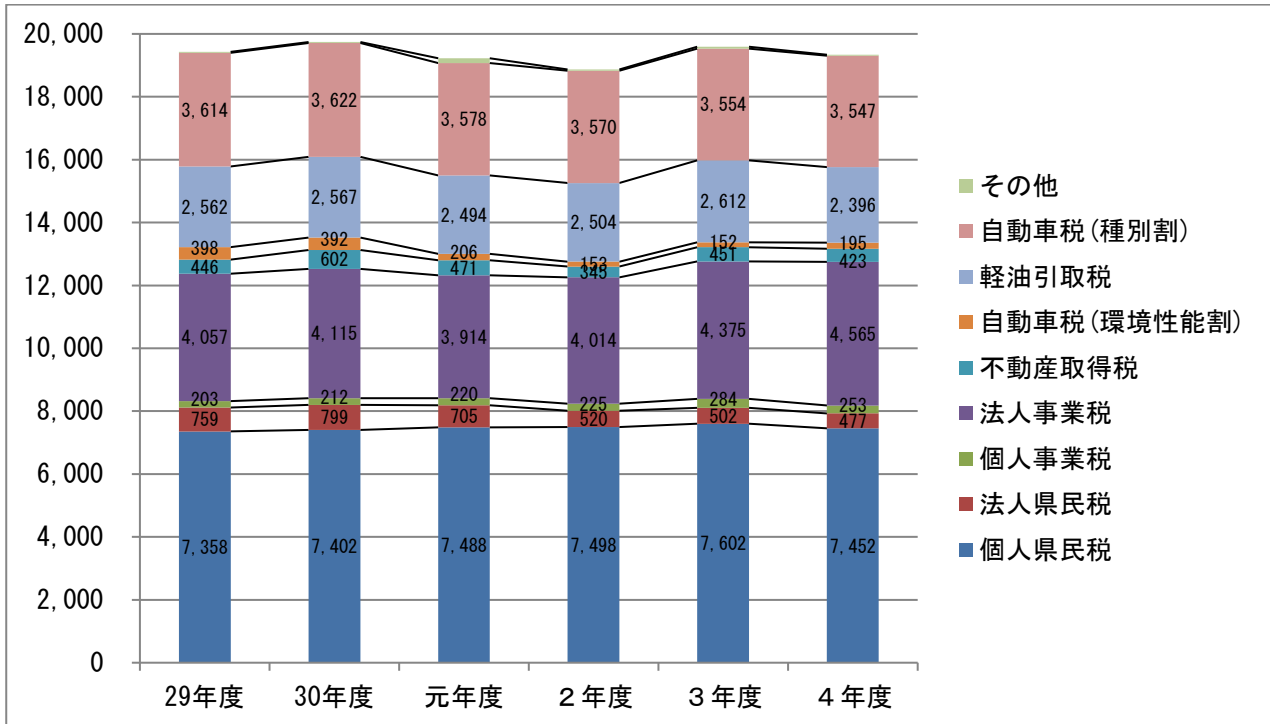
【表13】 調定額と収入額の推移

(単位：百万円、%)

		H29	H30	R元	R2	R3	R4
山形県	調定額	113,169	112,999	111,718	112,030	118,154	116,205
	収入額	111,757	111,682	110,434	110,339	117,073	115,150
	収入率	98.8	98.8	98.9	98.5	99.1	99.1
庄内	調定額	19,712	20,008	19,458	19,104	19,596	19,537
	割合	17.4	17.7	17.4	17.1	16.6	16.8
	収入額	19,449	19,751	19,204	18,872	19,379	19,311
	収入率	98.7	98.7	98.7	98.8	98.9	98.8

【図4】 主要税目の年度別調定状況

(現年度分、単位：百万円)



資料：庄内総合支庁税務課調べ

4 市民活動

平成10年12月1日に特定非営利活動促進法が施行されて以来、民間の非営利団体（通称：NPO）による社会貢献活動が当地域において活発化している。

令和6年3月末現在、管内で認証を得ている法人数は91法人にのぼり、その活動分野は多岐にわたる。

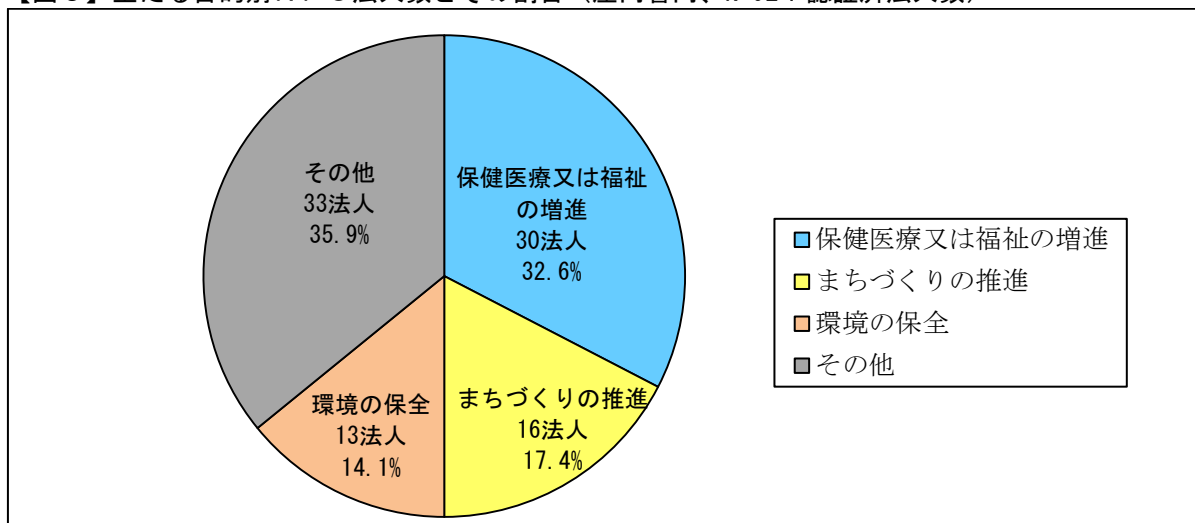
【表14】庄内管内のNPO法人数

年度	H11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
認証	5	2	3	8	13	10	9	15	8	10	5	6	5	4
移管											1		△1	
解散							△1	△2			△1	△1	△2	△6
計	5	7	10	18	31	41	49	62	70	80	85	90	92	90

年度	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5	計
認証	2	7	4	4	2	1	1	1	4	2	3	134
移管				△1			△2			△1		△4
解散	△2	△2	△4	△3		△1	△3 ※1	△3	△6		△2	△39
計	90	95	95	95	97	97	93	91	89	90	91	

資料：庄内総合支庁総務課調べ（令和6年3月末現在） ※1 うち認証取消が1法人

【図5】主たる目的別NPO法人数とその割合（庄内管内、N=92：認証済法人数）



資料：庄内総合支庁総務課調べ（令和6年3月末現在）

【表15】庄内地域のNPO法人一覧（認証年月日順）

	NPO法人の名称	認証年月日	所在地	主たる目的
1	あらた	H11. 10. 15	酒田市	保健医療又は福祉の増進
2	庄内海浜美化ボランティア	H11. 11. 26	酒田市	環境の保全
3	荘内松柏会	H12. 2. 1	鶴岡市	社会教育の推進

	NPO法人の名称	認証年月日	所在地	主たる目的
4	公益のふるさと創り鶴岡	H13. 8. 31	鶴岡市	中間支援組織
5	パートナーシップオフィス	H13. 10. 22	酒田市	中間支援組織
6	ゆざ環境協働組織鳥海自然ネットワーク	H14. 1. 4	遊佐町	環境の保全
7	スポーツみかわ二十一世紀	H14. 5. 21	三川町	学術文化芸術又はスポーツ振興
8	やすらぎの会	H14. 5. 21	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
9	庄内エコ・プランニング	H14. 7. 4	酒田市	環境の保全
10	未来の会	H14. 12. 6	酒田市	保健医療又は福祉の増進
11	家根合生態系保全活動センター	H15. 5. 19	庄内町	環境の保全
12	エコリング	H15. 6. 4	鶴岡市	環境の保全
13	まちづくり若葉の会	H15. 7. 31	庄内町	まちづくりの推進
14	e - c o m	H16. 2. 2	鶴岡市	情報化社会の発展
15	みらいず	H16. 3. 17	酒田市	保健医療又は福祉の増進
16	日本ライフガード機構	H16. 3. 31	酒田市	地域安全
17	ふれあいヘルパーサービス	H16. 7. 26	酒田市	保健医療又は福祉の増進
18	大地	H16. 7. 28	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
19	にこっと	H16. 9. 1	酒田市	子どもの健全育成
20	わいわい・かんとりー	H16. 10. 29	遊佐町	保健医療又は福祉の増進
21	支援センターなのはな畑	H17. 2. 15	酒田市	保健医療又は福祉の増進
22	鶴岡城下町トラスト	H17. 3. 3	鶴岡市	まちづくりの推進
23	極楽鳥海人	H17. 3. 18	遊佐町	まちづくりの推進
24	みなと研究会	H17. 6. 7	酒田市	環境の保全
25	出羽三山応援隊 蜂鼓山社中	H17. 6. 27	鶴岡市	環境の保全
26	豊かな海の環境をめざす おけさ会	H17. 9. 15	鶴岡市	環境の保全
27	おしんサービス庄内	H18. 3. 9	酒田市	保健医療又は福祉の増進
28	遊佐鳥海観光協会	H18. 3. 15	遊佐町	まちづくりの推進
29	支援センターふれあい工房	H18. 3. 27	酒田市	保健医療又は福祉の増進
30	元気王国	H18. 4. 11	酒田市	学術文化芸術又はスポーツ振興
31	アシスト	H18. 5. 17	酒田市	保健医療又は福祉の増進
32	花の会	H18. 9. 15	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
33	ホールド	H18. 9. 15	酒田市	保健医療又は福祉の増進
34	ゆきやなぎ	H18. 9. 15	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
35	美しい庄内	H18. 12. 8	酒田市	まちづくりの推進
36	はんどめいど糸蔵楽	H19. 2. 9	三川町	保健医療又は福祉の増進
37	酒田市障がい者福祉会	H19. 2. 13	酒田市	保健医療又は福祉の増進
38	のぞみ文化振興	H19. 2. 21	酒田市	学術文化芸術又はスポーツ振興
39	みつば	H19. 3. 15	酒田市	保健医療又は福祉の増進
40	C o m f y	H19. 9. 20	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
41	健康づくりサポート東北21	H19. 12. 28	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
42	動物命を守る会 C a t ' s 愛	H20. 1. 17	鶴岡市	社会教育の推進
43	いぶき	H20. 1. 17	酒田市	子どもの健全育成
44	森と水	H20. 4. 18	鶴岡市	環境の保全
45	エオヒップス	H20. 6. 3	酒田市	保健医療又は福祉の増進
46	酒田リトルシニア	H20. 6. 19	酒田市	学術文化芸術又はスポーツ振興
47	酒田みなとまちづくり市民会議	H20. 7. 22	酒田市	まちづくりの推進
48	ライフサポート庄内	H20. 12. 24	庄内町	保健医療又は福祉の増進

	NPO法人の名称	認証年月日	所在地	主たる目的
49	ぼらんたす	H20. 12. 25	鶴岡市	まちづくりの推進
50	山形県くらしの共生福祉互助会	H21. 8. 27	鶴岡市	まちづくりの推進
51	ひらた里山の会	H21. 8. 27	酒田市	まちづくりの推進
52	鶴岡災害ボランティアネットワーク	H22. 3. 25	鶴岡市	災害救援活動
53	食の玉手箱	H22. 11. 10	遊佐町	保健医療又は福祉の増進
54	希望ヶ丘体育文化振興	H23. 1. 4	酒田市	学術文化芸術又はスポーツ振興
55	がくほれんwith酒田	H23. 1. 24	酒田市	子どもの健全育成
56	情報開発研究会	H23. 8. 30	酒田市	情報化社会の発展
57	たかだてスポーツクラブ	H23. 12. 20	鶴岡市	学術文化芸術又はスポーツ振興
58	酒田港女みなど会議	H24. 1. 4	酒田市	まちづくりの推進
59	鶴岡市スポーツ協会	H24. 2. 24	鶴岡市	学術文化芸術又はスポーツ振興
60	山形県リサイクルポート情報センター	H24. 3. 27	酒田市	環境の保全
61	絆の会	H24. 5. 10	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
62	鶴岡福祉村	H24. 12. 27	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
63	つるおかランド・バンク	H25. 1. 22	鶴岡市	まちづくりの推進
64	マグル	H25. 3. 29	酒田市	まちづくりの推進
65	一步	H25. 11. 28	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
66	明日のたね	H26. 6. 2	鶴岡市	子どもの健全育成
67	サルバトーレ櫛引	H26. 7. 29	鶴岡市	学術文化芸術又はスポーツ振興
68	自然体験温海コーディネート	H26. 8. 28	鶴岡市	まちづくりの推進
69	まちづくりnet松山	H26. 10. 30	酒田市	まちづくりの推進
70	いなか暮らし遊佐応援団	H27. 1. 20	遊佐町	まちづくりの推進
71	アイル酒田	H27. 2. 26	酒田市	学術文化芸術又はスポーツ振興
72	おいしい庄内を全国にひろげよう会	H27. 4. 10	鶴岡市	経済活動の活性化を図る活動
73	せいよう	H27. 6. 19	酒田市	社会教育の推進
74	きらりまめ・豆ネット	H27. 7. 30	酒田市	保健医療又は福祉の増進
75	おうらの里おおやま再生プロジェクト	H28. 3. 29	鶴岡市	環境の保全
76	日本国末端技術研究所	H28. 4. 27	鶴岡市	子どもの健全育成
77	鶴岡市芸術文化協会	H28. 7. 6	鶴岡市	学術文化芸術又はスポーツ振興
78	遊佐福祉会	H28. 11. 5	遊佐町	保健医療又は福祉の増進
79	くらし山形	H29. 3. 30	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
80	しえば	H30. 3. 22	鶴岡市	子どもの健全育成
81	はぐの家	R 1. 9. 12	遊佐町	子どもの健全育成
82	このゆびとまれ	R 2. 9. 19	酒田市	観光の振興
83	KSクラブ	R 3. 10. 12	庄内町	学術文化芸術又はスポーツ振興
84	かさふく	R 3. 10. 14	酒田市	社会教育の推進
85	Rebornまちラボ	R 4. 1. 13	酒田市	子どもの健全育成
86	やまごや	R 4. 2. 14	鶴岡市	保健医療又は福祉の増進
87	ひゃくねん森プロジェクト	R 4. 12. 2	鶴岡市	環境の保全
88	にじいろbase	R 5. 3. 31	鶴岡市	子どもの健全育成
89	こみっとAFC	R 5. 6. 16	鶴岡市	まちづくりの推進
90	なないろ	R 6. 2. 6	酒田市	保健医療又は福祉の増進
91	庄内アニマル倶楽部	R 6. 3. 14	遊佐町	社会教育の推進

資料：庄内総合支庁総務課調べ（令和6年3月末現在）

5 保健医療

(1) 死因別の死亡状況

庄内地域における死亡状況を死因別にみると、第1位が悪性新生物（死亡率（人口10万対）419.4）、第2位が心疾患（同263.3）、第3位が老衰（同216.6）となっている。

また、本県における死亡状況を死因別にみると、第1位が悪性新生物（死亡率（人口10万対）368.7）、第2位が心疾患（同243.1）、第3位が老衰（同202.3）となっている。

【表16】死因別構成比・死亡率（令和3年）

	全 国			山形県			庄内地域		
	順位	死亡率 (人口10万対)	構成比	順位	死亡率 (人口10万対)	構成比	順位	死亡率 (人口10万対)	構成比
悪性新生物	1	310.7	26.5%	1	368.7	24.5%	1	419.4	25.4%
心疾患 (高血圧性を除く)	2	174.9	14.9%	2	243.1	16.2%	2	263.3	15.9%
老 衰	3	123.8	10.6%	3	202.3	13.5%	3	216.6	13.1%
脳血管疾患	4	85.2	7.3%	4	124.4	8.3%	4	128.7	7.8%
肺 炎	5	59.6	5.1%	5	70.8	4.7%	5	74.8	4.5%
その他	—		35.6%	—		32.8%	—		33.3%
総 数	—	1,172.7	100.0%	—	1503.11	100.0%	—	1653.1	100.0%

※構成比は四捨五入で端数処理しているため、総数が一致しない場合がある。

資料：厚生労働省「人口動態統計」、健康福祉部「保健福祉統計年報（人口動態統計）」

(2) がん検診の状況

庄内地域における住民健診のがん検診受診率は、県内4地域の中でも高い状況にあり、特に肺がん、大腸がん及び子宮がん検診は40%を超えている。一方、乳がん検診は30%を下回り、県内4地域の中でも特に低い状況となっている。

がんの早期発見に向けて、市町はがん検診の受診勧奨・再勧奨や日曜検診、早朝検診等の取り組みのほか、精密検査未受診者に対する受診勧奨等を実施している。

【表17】がん検診の状況（令和4年度） 40歳以上の検診状況（子宮がん検診は20歳以上）

	山形県	村山地域	最上地域	置賜地域	庄内地域
胃がん検診受診率	21.9%	21.3%	21.7%	22.7%	22.5%
肺がん検診受診率	42.2%	39.8%	47.0%	38.0%	48.2%
大腸がん検診受診率	38.5%	36.9%	37.9%	35.8%	43.8%
乳がん検診受診率（※）	33.4%	33.9%	36.0%	36.8%	29.8%
子宮がん検診受診率（※）	32.4%	28.1%	29.4%	33.3%	40.7%

※2年に1回の受診間隔、受診率＝（当該年度受診者＋前年度受診者－2年連続受診者）／対象者

資料：健康福祉部「山形県がん検診成績表」（市町村別集計）

(3) 医療施設数及び病床数の状況

令和5年度の医療施設数は、前年度に比べ、一般診療所が5件減少している。また、地域全体の病床数は29床減少している。

【表18】医療施設数及び病床数の状況（令和5年度）

（令和6年3月31日現在）

	施設数			病床数						
	病院	一般診療所	歯科診療所	病院					診療所	
				精神	結核	感染症	一般	療養	一般	療養
鶴岡市	6	100	50	214	0	0	761	276	79	6
酒田市	5	92	42	340	0	4	734	164	33	10
三川町	1	5	3	96	0	0	0	98	0	0
庄内町	1	8	6	0	0	0	202	122	0	0
遊佐町	1	7	5	0	0	0	0	84	12	0
管内計 (前年比)	14 (0)	212 (-5)	106 (0)	650 (0)	0 (0)	4 (0)	1,697 (0)	744 (0)	124 (-17)	16 (-12)

資料：庄内総合支庁保健企画課調べ

(4) 医療従事者の状況

庄内地域の医師数は、人口10万対では208.9人で、県全体の252.2人に対して大きく下回っている。また、庄内地域に就業している看護師数については、令和2年に比べて人口10万対で61.9人増加し1,064.4人となったが、県全体1,190.3人との差は未だ改善されていない状況である。

一方、准看護師の就業者数については人口10万対で375.3人となっており、県全体の228.5人を大きく上回っている。

【表19】医師・歯科医師・薬剤師の状況及び看護職員就業者数（令和4年12月31日現在）（単位：人）

	全国	山形県	庄内地域
医師	343,275 (274.7)	2,625 (252.2)	534 (208.9)
歯科医師	105,267 (84.2)	691 (66.4)	163 (63.8)
薬剤師	323,690 (259.1)	2,174 (208.8)	484 (189.4)
保健師	60,299 (48.3)	720 (69.2)	191 (75.0)
助産師	38,063 (30.5)	360 (34.6)	78 (30.6)
看護師	1,311,687 (1,049.8)	12,391 (1,190.3)	2,711 (1,064.4)
准看護師	254,329 (203.5)	2,379 (228.5)	956 (375.3)

※カッコ内は、人口10万対の人数

資料：厚生労働省「令和4年医師・歯科医師・薬剤師統計」、「令和4年衛生行政報告例（就業医療関係）」

6 福祉

(1) 介護保険・介護サービス

庄内地域の要介護等認定者数（要介護者と要支援者の合計者数）は、令和5年12月末時点で17,520人となっており、65歳以上人口に対する割合は18.5%と、県平均17.4%を上回っている。また、介護サービスの受給者数は、居宅サービスが10,050人、地域密着型サービスが2,534人、施設サービスが3,051人、合計15,635人で、要介護等認定者数の89.2%となっている。

【表20】高齢者及び要介護等認定者数（令和5年12月末現在）（単位：人、%）

	総人口 A	65歳以上人口 B (B/A)	要介護及び要支援認定者数								
			要支援1 C (C/K)	要支援2 D (D/K)	経過的 E (E/K)	要介護1 F (F/K)	要介護2 G (G/K)	要介護3 H (H/K)	要介護4 I (I/K)	要介護5 J (J/K)	合計 K (K/B)
庄内	251,395	94,634 (37.6%)	1,563 (8.9%)	2,108 (12.0%)	0 (0.0%)	3,367 (19.2%)	3,439 (19.6%)	2,743 (15.7%)	2,364 (13.5%)	1,936 (11.1%)	17,520 (18.5%)
山形県	1,026,228	361,165 (35.2%)	6,021 (9.6%)	7,136 (11.3%)	0 (0.0%)	13,114 (20.8%)	12,284 (19.5%)	9,451 (15.0%)	8,978 (14.3%)	6,006 (9.5%)	62,990 (17.4%)

資料：県高齢者支援課調べ（A・B：「令和5年山形県の人口と世帯数」令和5年10月1日現在）

【表21】介護サービス受給者数（令和5年12月末現在）（単位：人、%）

	要介護等認定者数 A	受給者数						延受給者数 H (H/A)
		居宅サービス B (B/A)	地域密着サービス C (C/A)	施設サービス				
				福祉施設 D	老健施設 E	医療施設 F	計 G (G/A)	
庄内	17,520	10,050 (57.4%)	2,534 (14.5%)	1,867	1,160	24	3,051 (17.4%)	15,635 (89.2%)
山形県	62,990	35,960 (57.1%)	9,491 (15.1%)	7,773	3,878	70	11,721 (18.6%)	57,172 (90.8%)

資料：県高齢者支援課調べ ※延受給者数は、居宅サービスと地域密着サービスの一部重複を含む

(2) 障がい福祉

身体障害者手帳交付（認定）者数は令和5年3月末時点で11,753人、療育手帳交付（認定）者数は2,651人となっている。

【表22】身体障害者手帳交付者数（等級別、令和5年3月31日現在）（単位：人）

	総数			1級		2級		3級		4級		5級		6級	
	総数	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上	18歳未満	18歳以上
庄内	11,753	130	11,623	62	3,628	18	1,564	19	1,677	16	2,945	9	970	6	839
山形県	49,295	536	48,759	249	14,353	88	5,379	83	7,301	58	12,903	22	5,362	36	3,461

資料：県身体障がい者更生相談所調べ

【表 2 3】身体障害者手帳交付者数（障害別、令和 5 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

	総数			視覚障害		聴覚・平衡・音声 言語・そしゃく		肢体不自由		内部障害	
	総数	18 歳 未満	18 歳 以上	18 歳 未満	18 歳 以上	18 歳 未満	18 歳 以上	18 歳 未満	18 歳 以上	18 歳 未満	18 歳 以上
庄内	11,753	130	11,623	1	665	15	1,476	81	5,593	33	3,889
山形県	49,295	536	48,759	12	2,546	72	5,209	315	25,140	137	15,864

資料：県身体障がい者更生相談所調べ

【表 2 4】療育手帳所持者数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

	総数			18 歳未満		18 歳以上	
	総数	A	B	A	B	A	B
庄内	2,651	954	1,697	105	274	849	1,423
山形県	9,361	3,057	6,304	396	1,069	2,661	5,235

資料：健康福祉部障がい福祉課調べ

7 児童

(1) 子育て支援

庄内地域では、子育て世帯のニーズに合わせて多様な子育て支援施設が整備されている。少子化の進行により学齢前児童数は年々減少しており、保育所等入所児童数も減少している。4月1日時点の待機児童数は、調査を開始した平成22年から継続して0人となっている。

【表25】子育て支援関係施設数（令和6年4月1日現在）

	鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町	計
保育所	32 (20)	24 (19)	2 (1)	2 (2)	3 (0)	63 (42)
認定こども園	16 (16)	11 (11)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	30 (30)
(内) 保育所型	2 (2)					2 (2)
(内) 幼保連携型	10 (10)	8 (8)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	21 (21)
(内) 幼稚園型	4 (4)	3 (3)				7 (7)
地域型保育事業	4 (4)	1 (1)			1 (1)	6 (6)
届出保育施設等（認可外保育施設）	10 (10)	10 (9)		1 (1)		21 (20)
(内) 企業主導型保育事業	2 (2)	2 (2)				4 (4)
一時預かり事業	19 (13)	21 (17)	2 (1)	3 (3)	4 (1)	49 (35)
病児保育事業	20 (15)	19 (15)	4 (4)	5 (5)		48 (39)
幼稚園			1 (0)	4 (0)		5 (0)
地域子育て支援拠点事業	20 (10)	7 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	30 (11)
児童館・児童センター	6 (0)	1 (0)				7 (0)
放課後児童クラブ	43 (43)	25 (0)	3 (3)	5 (0)	2 (1)	78 (47)

※休止施設除く。()は民間立で内数。資料：庄内総合支庁子ども家庭支援課調べ

【表26】保育所等入所状況（令和5年4月1日現在）

(単位：人、%)

	学齢前児童数 (人) A	保育所等入所 児童数(人) B	割合 (%) B/A	保育所等定員 (人) C	定員充足率 (%) B/C
庄内計	8,633	5,817	67.4	7,148	81.4

※保育所型及び幼保連携型認定こども園(2号・3号認定)を含む。資料：しあわせ子育て応援部調べ

【表27】保育所等待機児童の推移

(単位：人)

	H30		H31		R2		R3		R4		R5	
	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1	4/1	10/1
庄内計	0	10	0	14	0	11	0	5	0	0	0	0
県全体	46	205	45	174	0	86	0	63	0	35	0	24

資料：しあわせ子育て応援部調べ

(2) 子どもの居場所

子どもに無料または低額で食事を提供する子ども食堂の取組みが行われており、庄内地域では、令和5年度までに17団体で実施されている。

【表28】子ども食堂実施団体数（令和6年3月31日現在）

	鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町	計
子ども食堂実施団体数	6	7	1	2	1	17

※これまでに子ども食堂を実施した団体の累計
資料：庄内総合支庁子ども家庭支援課調べ

8 文化

(1) 文化財

県内全域で174件の国指定文化財があり、そのうち庄内地域においては、国宝が3件、重要文化財が27件、国指定重要有形民俗文化財が8件、国指定重要無形民俗文化財が4件、国指定史跡・名勝・天然記念物（地域を定めないもの含む）29件の計71件が指定を受けている（令和6年3月末現在）。県全体の約40%を占め、庄内地域の文化の豊かさを表している。

【表29】国宝

	名称	所有者・保持者（管理団体）	所在地	指定年月日	種別
1	羽黒山五重塔	月山神社出羽神社湯殿山神社	鶴岡市羽黒町手向	S41. 6. 11	建造物
2	太刀 銘 信房作 附 糸巻太刀拵	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S27. 3. 29	工芸品
3	太刀 銘 真光 附 糸巻太刀拵	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S28. 3. 31	〃

【表30】重要文化財

	名称	所有者・保持者（管理団体）	所在地	指定年月日	種別
1	羽黒山正善院黄金堂	羽黒山正善院	鶴岡市羽黒町手向	M41. 4. 23	建造物
2	水上八幡神社本殿	水上八幡神社	鶴岡市水沢	M41. 4. 23	〃
3	旧西田川郡役所	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S44. 12. 18	〃
4	旧渋谷家住宅	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S44. 12. 18	〃
5	鶴岡カトリック教会天主堂	カトリック新潟教区	鶴岡市馬場町	S54. 5. 21	〃
6	羽黒山三神合祭殿及び鐘楼	月山神社出羽神社湯殿山神社	鶴岡市羽黒町手向	H12. 5. 25	〃
7	旧風間家住宅	(公財) 克念社	鶴岡市馬場町	H12. 12. 4	〃
8	旧青山家住宅	遊佐町	遊佐町比子	H12. 12. 4	〃
9	金峯神社本殿	金峯神社	鶴岡市青龍寺	H13. 11. 14	〃
10	旧鶴岡警察署庁舎	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	H21. 12. 8	〃
11	絹本着色王昭君図 菱田春草筆	善宝寺	鶴岡市下川	S57. 6. 5	絵画
12	銅造如来立像	湯殿山総本寺大綱大日坊	鶴岡市大綱	H20. 7. 10	彫刻
13	銅燈籠竿 文和元年七月二十五日の銘あり	月山神社出羽神社湯殿山神社	鶴岡市羽黒町手向	T 4. 3. 26	工芸品
14	太刀 無銘附 切刃、革鐔及革包鞘	大物忌神社	酒田市本楯	T11. 4. 13	〃
15	短刀 銘 吉光 (名物信濃藤四郎)	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S10. 4. 30	〃
16	蒔絵二重短刀箱内箱桐繫外箱歌所菱	(公財) 本間美術館	東京国立博物館寄託	S27. 3. 29	〃
17	色々威胴丸兜、頬当、大袖、籠手付	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S32. 2. 19	〃
18	銅鉢	金峯神社	鶴岡市青龍寺	S48. 6. 6	〃
19	梵鐘	月山神社出羽神社湯殿山神社	鶴岡市羽黒町手向	S48. 6. 6	〃
20	能装束 紅地蜀江文黄緞狩衣 白地草花海賦文辻ヶ花染肩裾小袖	黒川能上座	鶴岡市黒川	S60. 6. 6	〃
21	能装束 藍紅紋紗地太極図印金狩衣	黒川能下座	鶴岡市黒川	S60. 6. 6	〃
22	紙本墨書市河文書	(公財) 本間美術館	酒田市御成町	S11. 5. 6	古文書
23	鳥海山大物忌神社文書	鳥海山大物忌神社	遊佐町吹浦	S12. 7. 29	〃
24	藤原定家筆消息	(公財) 本間美術館	酒田市御成町	S36. 6. 30	〃
25	禅院額字 潮音堂	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S27. 3. 29	書跡
26	伊勢物語 (伝民部卿局筆本)	(公財) 本間美術館	酒田市御成町	S52. 6. 11	〃
27	銅鏡	月山神社出羽神社湯殿山神社	鶴岡市羽黒町手向	S12. 7. 29	考古資料

【表31】国指定重要有形民俗文化財

	名称	所有者・保持者（管理団体）	所在地	指定年月日
1	庄内のぼんどりコレクション	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S38. 5. 15
2	庄内の木製酒器コレクション	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S39. 5. 29
3	庄内の仕事着コレクション	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S41. 6. 11
4	大宝寺焼コレクション	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S46. 12. 15
5	庄内および周辺地のくりものコレクション	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S47. 8. 3
6	庄内浜及び飛島の漁撈用具	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S51. 8. 23
7	最上川水系の漁撈用具	(公財) 致道博物館	鶴岡市家中新町	S57. 4. 21
8	庄内の米作り用具	(公財) 致道博物館	鶴岡市羽黒町猪俣新田	H 2. 3. 29

【表32】国指定重要無形民俗文化財

	名称	所有者・保持者（管理団体）	所在地	指定年月日
1	黒川能	(公財) 黒川能保存会	鶴岡市黒川	S51. 5. 4
2	杉沢比山	杉沢比山保存会	遊佐町杉沢	S53. 5. 22
3	遊佐の小正月行事	遊佐のアマハゲ保存会	遊佐町女鹿・滝ノ浦・鳥崎	H11. 12. 21
4	松例祭の大松明行事	松例祭保存会	鶴岡市羽黒町手向	H26. 3. 10

【表33】国指定史跡・名勝・天然記念物

	名称	所有者・保持者（管理団体）	所在地	指定年月日	種別
1	城輪柵跡	酒田市ほか	酒田市城輪ほか	S 7. 4. 25	史跡
2	旧致道館	鶴岡市	鶴岡市馬場町	S26. 6. 9	〃
3	堂の前遺跡	酒田市	酒田市法連寺	S54. 10. 23	〃
4	旧鑑屋	酒田市	酒田市中町	S59. 5. 25	〃
5	松ヶ岡開墾場	松ヶ岡農業協同組合ほか（鶴岡市）	鶴岡市羽黒町猪俣新田	H 1. 8. 11	〃
6	小国城跡	個人	鶴岡市小国	H14. 12. 19	〃
7	鳥海山	鳥海山大物忌神社ほか	遊佐町	H20. 3. 28	〃
8	小山崎遺跡	遊佐町ほか	遊佐町吹浦字七曲ほか	R 2. 3. 10	〃
9	山居倉庫	全国農業協同組合連合会山形県本部（酒田市）	酒田市山居町	R 3. 3. 26	〃
10	旧東田川郡役所及び郡会議事堂	鶴岡市	鶴岡市藤島	R 5. 3. 20	〃
11	金峯山	金峯神社ほか	鶴岡市青龍寺	S16. 4. 23	名勝
12	酒井氏庭園	個人（（公財）致道博物館）	鶴岡市家中新町	S51. 12. 27	〃
13	玉川寺庭園	玉川寺	鶴岡市羽黒町玉川	S62. 8. 1	〃
14	總光寺庭園	總光寺	酒田市字総光寺沢	H 8. 3. 29	〃
15	本間氏別邸庭園（鶴舞園）	(公財) 本間美術館 個人	酒田市御成町	H24. 1. 24	〃
16	おくのほそ道の風景地三崎（大師崎）	遊佐町ほか	遊佐町吹浦	H27. 3. 10	〃
17	カモンカ（特別天然記念物）	無主物	地域を定めず	S30. 2. 15	天然記念物
18	羽黒山のスギ並木（特別天然記念物）	月山神社出羽神社湯殿山神社	鶴岡市羽黒町手向	S30. 8. 13	〃
19	熊野神社の大スギ	熊野神社（鶴岡市）	鶴岡市水沢	S 2. 4. 8	〃
20	飛島ウミネコ繁殖地	(酒田市)	酒田市飛島	S13. 12. 14	〃
21	文下のケヤキ	個人ほか	鶴岡市文下	S26. 6. 9	〃
22	南谷のカシミザクラ	月山神社出羽神社湯殿山神社	鶴岡市羽黒町手向	S26. 6. 9	〃
23	山五十川の玉スギ	熊野神社	鶴岡市山五十川	S26. 6. 9	〃
24	羽黒山の爺スギ	月山神社出羽神社湯殿山神社	鶴岡市羽黒町手向	S26. 6. 9	〃

	名称	所有者・保持者（管理団体）	所在地	指定年月日	種別
25	早田のオハツキイチョウ	個人	鶴岡市早田	S26. 6. 9	〃
26	イヌワシ	無主物	地域を定めず	S40. 5. 12	〃
27	月山	農林水産省・月山神社出羽神社湯殿山神社	庄内町立谷沢ほか	S47. 12. 9	〃
28	ヤマネ	無主物	地域を定めず	S50. 6. 26	〃
29	三瀬気比神社社叢	三瀬気比神社	鶴岡市三瀬	S52. 4. 2	〃

【表 3 4】（参考）県指定無形民俗文化財

	名称	所有者・保持者（管理団体）	所在地	指定年月日
1	山戸能	山五十川古典芸能保存会山戸能一座	鶴岡市山五十川	S51. 8. 9
2	高寺八講	高寺八講保存会	鶴岡市羽黒町高寺字南畑	S51. 8. 9
3	黒森歌舞伎	黒森歌舞伎妻堂連中	酒田市黒森	S51. 8. 9
4	新山延年	新山延年舞保存会	酒田市檜橋字新山	S55. 5. 12
5	松山能	松諷社	酒田市字蔵小路皇太神社	S55. 5. 12
6	山五十川歌舞伎	山五十川古典芸能保存会歌舞伎一座	鶴岡市山五十川	S61. 8. 12
7	吹浦田楽舞	吹浦田楽保存会	遊佐町吹浦	H 5. 12. 3
8	蔵岡延年	蔵岡延年保存会	遊佐町上蔵岡	H 5. 12. 3

（２）国際交流

庄内地域における令和 5 年 12 月末現在の外国人登録者数は、前年に比べ 183 人増となる 1,655 人で、県全体の 2 割弱となっている。

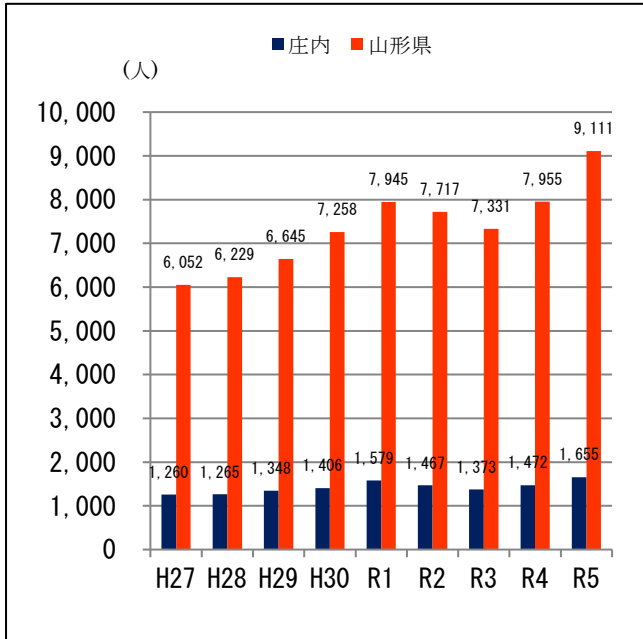
国籍別では、ベトナム 479 人（28.9%）、中国が 341 人（20.6%）、韓国・朝鮮が 207 人（12.5%）、フィリピン 202 人（12.2%）であり、この 4 か国で全体の 74.3%となっている。

【表 3 5】外国人登録者数（国籍別）（令和 5 年 12 月末現在）

	総 数	国 籍 別							
		ベトナム	中国	韓国・朝鮮	フィリピン	インドネシア	米国	ミャンマー	その他
鶴岡市	864	252	174	64	118	37	26	14	179
酒田市	546	119	137	113	51	19	11	22	74
三川町	29	9	8	6	1		2		3
庄内町	136	69	13	13	16	2	3		20
遊佐町	80	30	9	11	16			6	8
庄 内	1,655	479	341	207	202	58	42	42	284
山形県	9,111	2,677	1,830	1,394	981	375	204	294	1,356

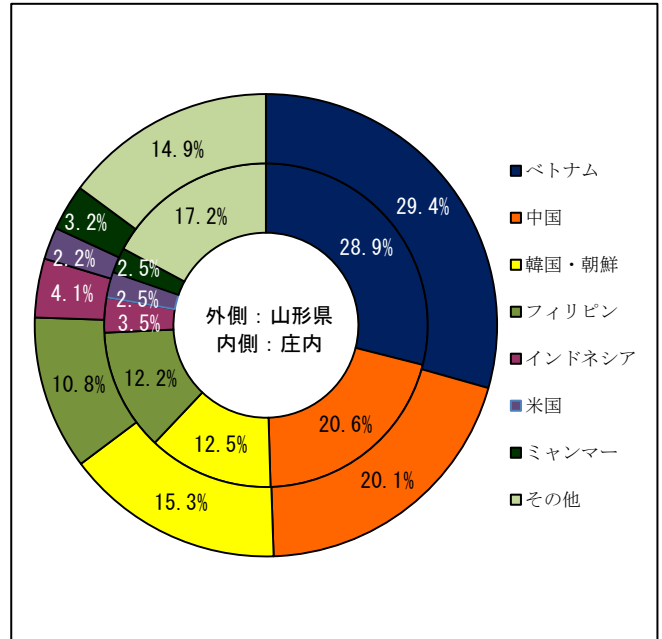
資料：みらい企画創造部国際人材活躍・コンベンション誘致推進課調べ

【図6】外国人登録者数の推移



資料: 未来企画創造部国際人材活躍・コンベンション誘致推進課調べ(各年12月末現在)

【図7】外国人登録者の国籍別割合



資料: 未来企画創造部国際人材活躍・コンベンション誘致推進課調べ(令和5年12月末現在)

【表36】管内の姉妹友好都市の状況

市町名	姉妹友好都市等名	締結年月日
鶴岡市	ニューブランズウィック市 (アメリカ合衆国)	S35. 6. 10
	ラフォア市 (フランス領ニューカレドニア)	H 7. 2. 9
	尚志市 (中華人民共和国)	H12. 10. 25
酒田市	ジェレズノゴルスク・イリムスキー市 (ロシア連邦)	S54. 10. 8
	唐山市 (中華人民共和国)	H 2. 7. 26
	デラウェア市 (アメリカ合衆国)	H29. 4. 19
三川町	マクミンビル市 (アメリカ合衆国)	H 6. 8. 2
庄内町	コルサコフ市 (ロシア連邦)	H 4. 7. 23
遊佐町	ソルノク市 (ハンガリー共和国)	H16. 8. 1

資料: 庄内総合支庁総務課連携支援室調べ

9 産 業

(1) 産業構造

令和2年の庄内地域の就業人口は、前回の平成27年と比較してみると、第1次産業では人口数と構成比が共に減少、第2次産業及び第3次産業では人口数と構成比が共に増加した状況となった。全県としては、第1次産業では人口数と構成比が共に減少、第2次産業では人口数が増加する一方、構成比が減少、第3次産業では人口数と構成比ともに増加した。

構成比の推移を全県と比較してみると、第1次産業、第2次産業、第3次産業とも概ね全県と同水準で推移しており、産業別就業人口は全県と同様の構造となっている。

令和2年度の産業別総生産の構成比を見ると、庄内地域は製造業、不動産業、保健衛生・社会事業の占める割合が高い。県内総生産の構成比と比較すると、製造業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業の割合が高く、公務、卸売・小売業の割合が低くなっている。

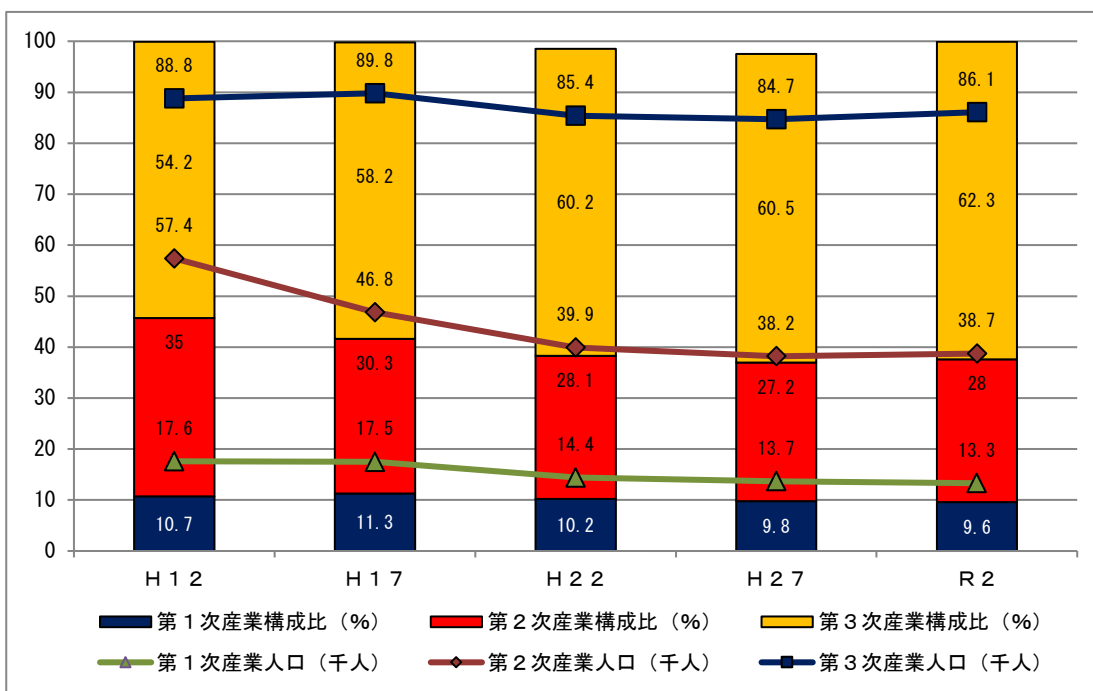
【表37】 産業別就業人口の推移

(単位：千人、%)

		平成12年		平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
山形県	就業人口	642.6	100.0	611.4	100.0	566.0	100.0	562.1	100.0	562.5	100.0
	第1次産業	71.0	11.1	66.1	10.8	55.6	9.8	51.7	9.4	48.7	8.7
	第2次産業	223.3	34.8	186.7	30.5	164.0	29.0	159.9	29.1	160.6	28.6
	第3次産業	347.5	54.1	355.6	58.2	336.6	59.5	338.3	61.5	353.1	62.8
庄内	就業人口	163.9	100.0	154.1	100.0	141.9	100.0	140.1	100.0	138.1	100.0
	第1次産業	17.6	10.7	17.5	11.3	14.4	10.2	13.7	9.8	13.3	9.6
	第2次産業	57.4	35.0	46.6	30.3	39.9	28.1	38.2	27.2	38.7	28.0
	第3次産業	88.8	54.2	89.8	58.2	85.4	60.2	84.7	60.5	86.1	62.3

※業種分類不能があるため、就業人口と産業別就業人口の合計は一致しない。資料：国勢調査

【図8】 庄内地域の産業別人口と構成比の推移（国勢調査）



【表38】産業別総生産（令和2年度）

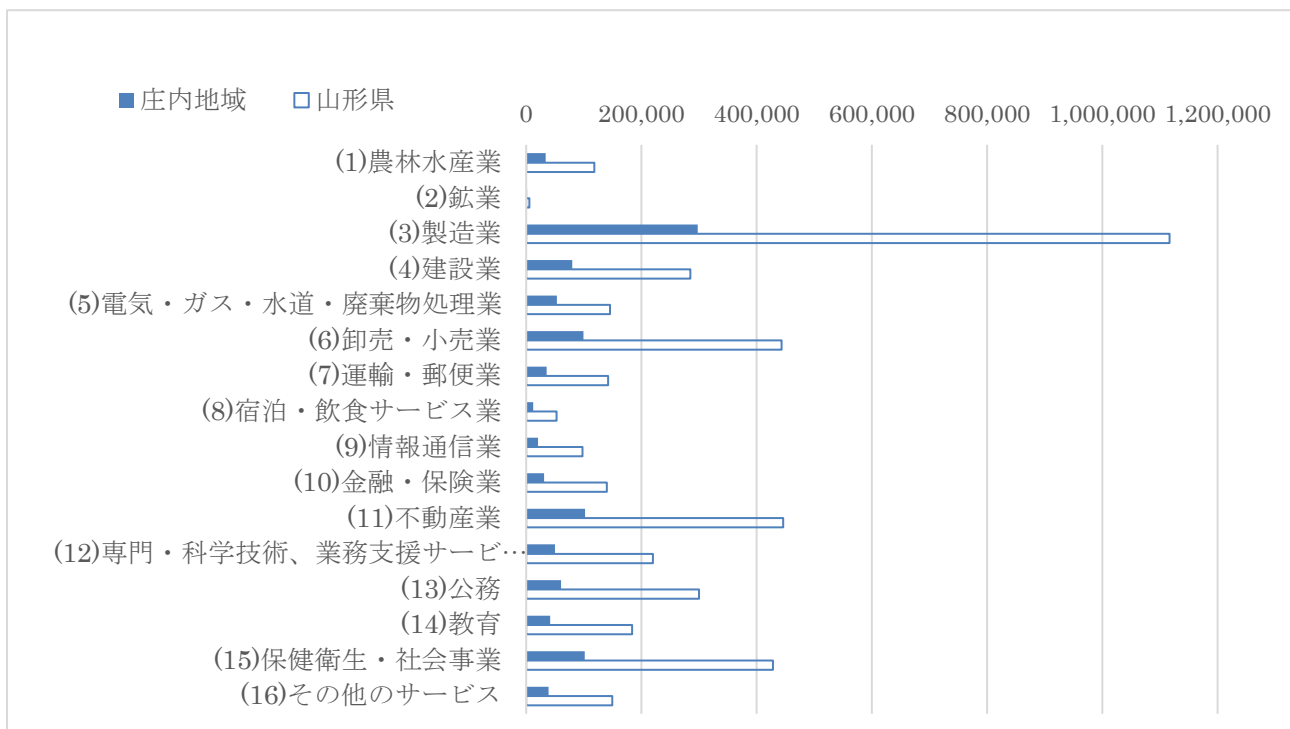
（単位：百万円）

	庄内地域		山形県		庄内の割合
	金額	構成比	金額	構成比	
(1) 農林水産業	34,076	3.2%	118,253	2.8%	28.8%
(2) 鉱業	1,869	0.2%	5,556	0.1%	33.6%
(3) 製造業	297,477	28.0%	1,116,565	26.1%	26.6%
(4) 建設業	80,195	7.5%	284,722	6.6%	28.2%
(5) 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	53,039	5.0%	145,448	3.4%	36.5%
(6) 卸売・小売業	99,430	9.4%	443,189	10.3%	22.4%
(7) 運輸・郵便業	35,512	3.3%	142,274	3.3%	25.0%
(8) 宿泊・飲食サービス業	12,320	1.2%	52,866	1.2%	23.3%
(9) 情報通信業	20,447	1.9%	97,894	2.3%	20.9%
(10) 金融・保険業	31,071	2.9%	140,196	3.3%	22.2%
(11) 不動産業	102,250	9.6%	445,909	10.4%	22.9%
(12) 専門・科学技術、業務支援サービス業	50,227	4.7%	219,701	5.1%	22.9%
(13) 公務	60,277	5.7%	300,131	7.0%	20.1%
(14) 教育	41,746	3.9%	183,689	4.3%	22.7%
(15) 保健衛生・社会事業	101,781	9.6%	428,449	10.0%	23.8%
(16) その他のサービス	38,589	3.6%	149,218	3.5%	25.9%
(17) 小計（1～16）	1,060,306	99.8%	4,274,060	99.8%	24.8%
(18) 輸入品に課される税・関税	18,849	1.8%	75,981	1.8%	24.8%
(19) (控除)総資産形成に係る消費税	16,344	1.5%	65,883	1.5%	24.8%
(20) 合計（17+18-19）	1,062,811	100.0%	4,284,158	100.0%	24.8%

資料：市町村民経済計算（令和5年9月）

【図9】産業別総生産（令和2年度）

（単位：百万円）



資料：市町村民経済計算（令和5年9月）

(2) 農業

令和2年の庄内の農家数は8,823戸で、平成27年調査時に比べ1,190戸(11.9%)減少した。基幹的農業従事者数の推移を見ると、令和2年は9,805人で、平成27年調査時に比べ923人(8.6%)減少した。

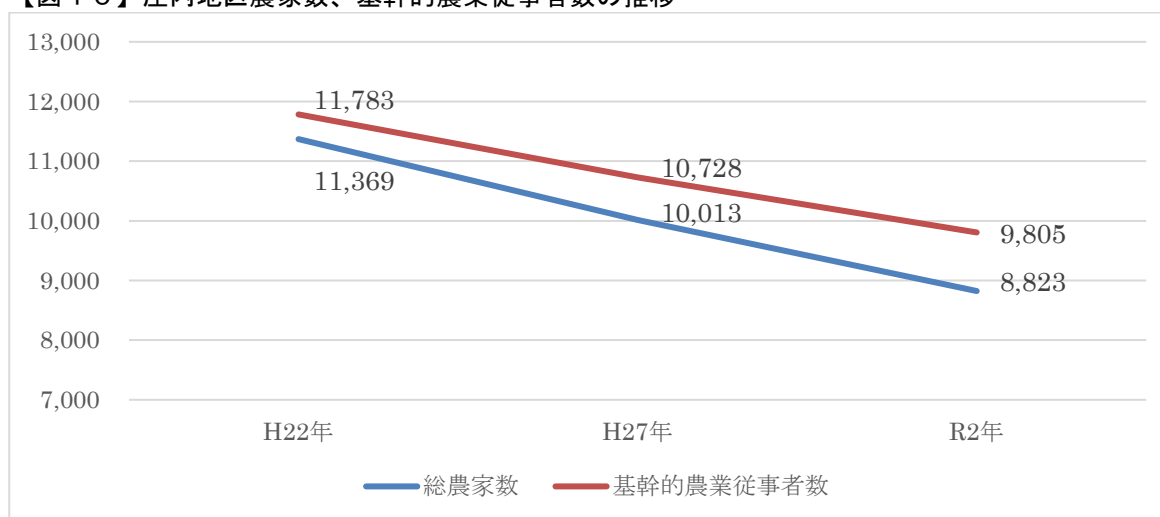
庄内の耕地面積の減少は続いているが、減少割合は全県に比較すると緩やかである。

【表39】農家数、基幹的農業従事者数、耕地面積

(単位：戸、人、ha、%)

		H22年	H27年	R2年	増減率	
					H27/H22	R2/H27
山形県	総農家数	53,477	46,224	39,628	△13.6	△14.3
	基幹的農業従事者数	52,015	45,821	39,034	△11.9	△14.8
	耕地面積	123,100	121,100	116,900	△1.6	△3.5
	水稲作付面積	68,200	65,300	64,700	△4.3	△0.9
庄内	総農家数	11,369	10,013	8,823	△11.9	△11.9
	基幹的農業従事者数	11,783	10,728	9,805	△9.0	△8.6
	耕地面積	42,800	42,670	42,070	△0.3	△1.4
	水稲作付面積	26,900	26,320	26,830	△2.2	1.9

【図10】庄内地区農家数、基幹的農業従事者数の推移



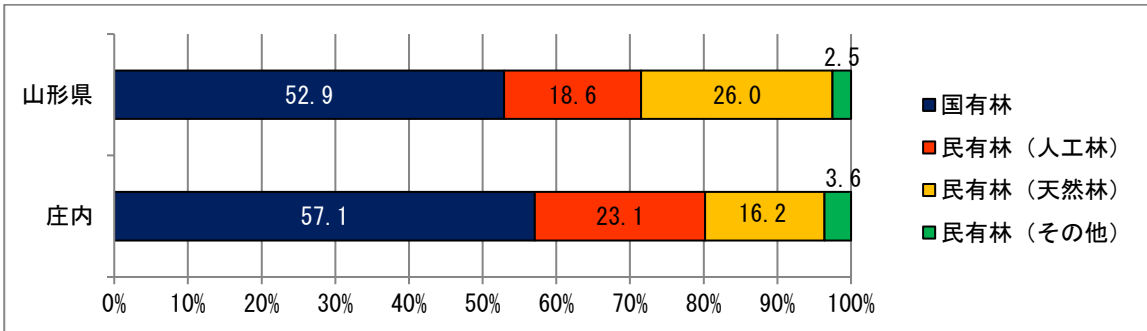
資料：農林水産省「農林業センサス」、「作物統計」

(3) 林業

庄内地域の森林面積は 162,225ha で、県全体の 24%を占めている。県全体と比較すると、民有林のうち人工林の比率が高く、天然林の比率が低いのが特徴である。

庄内地域における木材（素材）生産量は、約 120 千 m^3 であり、県全体の 23%を占めている。また、きのこの生産量は元年次より減少傾向となっており、庄内地域の特徴としては原木しいたけの割合が多い。山菜の生産量も、全般的に元年次より減少傾向にあるが、県全体の生産量も減少したため、県全体の生産量に占める割合は 52%となっている。

【図 1 1】 森林面積



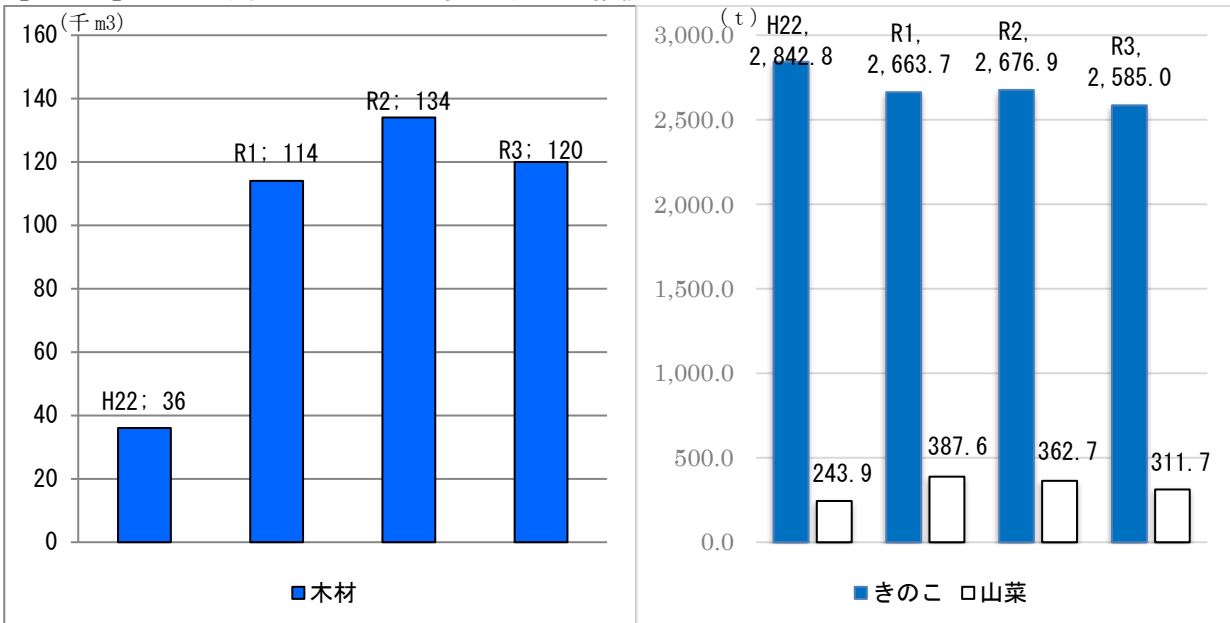
資料：「山形県林業統計（令和 4 年度）」

【表 4 0】 庄内の木材およびきのこの等の生産量

	庄内				山形県 (令和 3 年次)	庄内の 割合 (%)	
	平成 22 年次	令和元年次	令和 2 年次	令和 3 年次			
木材（素材）（千 m^3 ）	36	114	134	120	527	23	
特用林産物	きのこ（t）	2,842.8	2,663.7	2,676.9	2,585.0	8,360.3	31
	山菜（t）	243.9	387.6	362.7	311.7	599.8	52

資料：木材は「山形県木材統計」（R3 データ）、特用林産物は「R3 特用林産物需給動態調査」

【図 1 2】 庄内の木材およびきのこの等の生産量の推移



資料：木材は「山形県木材統計」（R3 データ）、きのこ、山菜は「R3 特用林産物需給動態調査」

(4) 水産業

庄内地域の漁業は、日帰り操業を中心とした沿岸漁業が主力となっており、平成 30 年の経営体数は 284 経営体で、平成 25 年に比べ 75 経営体 (20.9%) 減少し、山形県漁業協同組合の組合員数は 1,260 人で、153 人 (10.8%) 減少した。

令和 5 年の漁獲量は 2,843 トン (前年比 75%) で、生産額は、20 億 39 百万円 (前年比 86%) となっている。

魚種別にみると、「するめいか」、「たい類」、「ほっこくあかえび」、「ずわいがに」、「たら」、「いわがき」、「べにずわい」、「さけ・ます」の生産額が大きい割合を占めている。

【表 4 1】海面漁業の主要指標

	H10 年	H15 年	H20 年	H25 年	H30 年
経営体数 (体)	548	504	416	359	284
山形県漁協組合員数 (人)	1,850	1,665	1,514	1,413	1,260
漁船隻数 (隻)	1,149	1,065	950	837	669
漁獲量 (t)	8,037	7,574	8,047	6,304	5,045
生産額 (百万円)	3,633	2,940	3,046	2,687	2,810

資料：「2018 年漁業センサス」、「山形県の水産」

【表 4 2】魚種別生産額

(単位：千円)

	H15 年	H20 年	H25 年	H30 年	R5 年
さけ・ます	95,561	94,317	73,869	111,096	45,681
たい類	249,451	251,812	279,666	231,423	200,769
かれい類	171,263	136,800	116,199	71,076	36,045
ひらめ	88,083	109,796	60,616	44,662	32,150
たら	99,767	214,719	132,303	160,097	94,003
はたはた	158,960	110,156	103,911	100,028	8,453
さわら	—	71,326	85,168	27,471	5,985
するめいか	795,437	703,514	800,281	1,203,621	539,498
ほっこくあかえび	185,905	204,948	135,044	140,899	168,113
ずわいがに	36,812	26,105	91,960	83,076	159,346
べにずわい	65,974	51,223	55,644	62,086	57,233
いわがき	103,494	123,336	82,632	37,530	58,001
あわび	39,435	50,298	48,044	37,404	18,368
海藻類	37,650	35,377	22,242	35,581	13,312
その他	812,550	862,412	598,985	464,041	602,350
合 計	2,940,342	3,046,139	2,686,564	2,810,091	2,039,307

資料：漁協統計

H15 以前の「さわら」は「その他」に含まれる

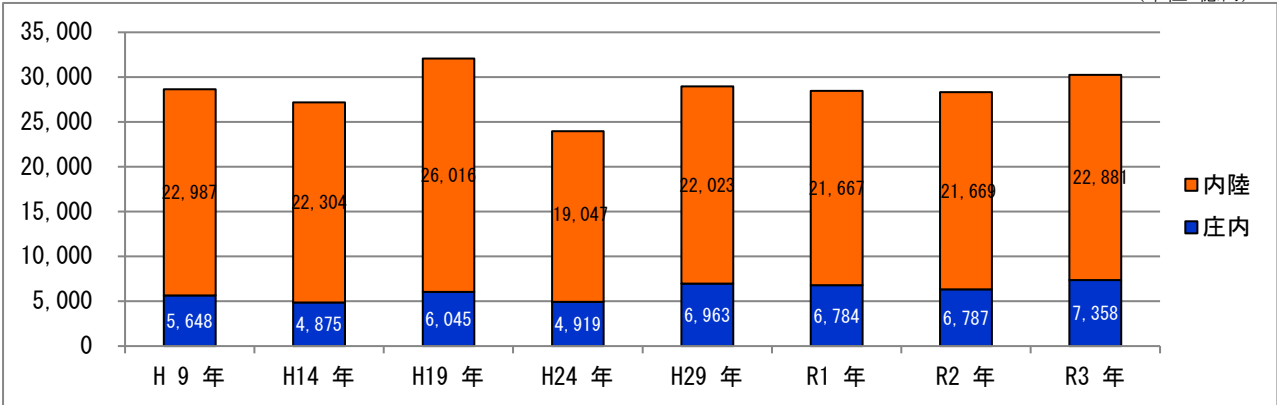
(5) 工業

令和3年における庄内の製造品出荷額は7,358億円で、県全体の24.3%となっており、前年と比較すると、出荷額で571億円の増加となった。

庄内の製造品出荷額の内訳をみると、電子部品・デバイス・電子回路製造業3,794億円(51.6%)、化学工業744億円(10.1%)、食料品製造業707億円(9.6%)の占める割合が高い。全県の製造品出荷額の構成比と比べてみると、上位2業種は全県を上回っており、特に電子部品・デバイス・電子回路製造業は大幅に上回っている。

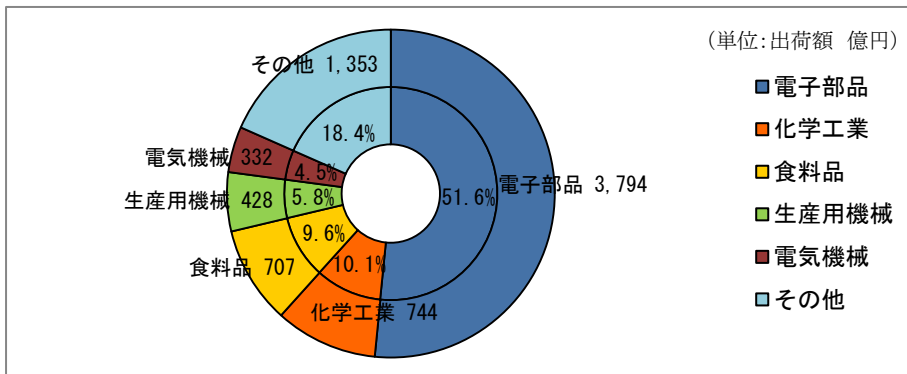
【図13】製造品出荷額の推移

(単位:億円)



資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」(各年)

【図14】庄内地域の製造品出荷額内訳(令和3年 産業中分類別)



資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」(各年)

【表43】主な製造品出荷額等(令和3年 産業中分類別)

(単位:出荷額 億円)

	電子部品		化学工業		食料品		生産用機械		電気機械		その他		全産業計	
	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比	出荷額	構成比
庄内	3,794	51.6%	744	10.1%	707	9.6%	428	5.8%	332	4.5%	1,353	18.4%	7,358	100%
全県	7,051	23.3%	2,942	9.7%	3,378	11.2%	2,466	8.2%	1,431	4.7%	12,971	42.9%	30,239	100%

資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」(各年)

【表44】事務所・従業員数(令和4年)

地域別	事業所数	従業員数
庄内地域	600 所	22,336 人
全県	2,701 所	98,272 人

資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」(各年)

【表45】工業立地

地域別	工場立地 件数
庄内地域	3 件
全県	16 件

資料：経済産業省「2021年工場立地動向調査」

【表 4 6】市町村別付加価値額(令和 3 年)

(単位：上段億円、下段万円)

	山形県	庄内地域	鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町
総付加価値額	11,177	3,915	2,915	835	51	50	63
従業員一人当たり	1,137	1,753	2,399	1,052	667	518	1,234

資料：みらい企画創造部統計企画課「山形県の工業」（各年）

(6) 商業

令和 3 年 6 月 1 日現在の庄内地域の商店数は、卸売業、小売業を合わせ、3,391 店(平成 28 年比 12.7%減)で、県全体に占める割合は 26.5%となっている。

年間販売額は、約 5,250 億円で、県全体の 21.0%を占め、商店数の割合に比べて低い。特に、卸売業の年間販売額は 2,405 億円で県全体に占める割合は 18.5%にとどまっている。

【表 4 7】卸売業の商店数、年間販売額の推移

(単位：店、億円)

	H19.6.1		H24.2.1		H26.7.1		H28.6.1		R3.6.1	
	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額
山形県	3,196	14,805	3,234	11,330	3,282	12,175	3,153	13,902	2,782	12,998
庄内	850	3,308	876	2,258	850	2,298	845	2,604	724	2,405

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済センサス」

【表 4 8】小売業の商店数、年間販売額の推移

(単位：店、億円)

	H19.6.1		H24.2.1		H26.7.1		H28.6.1		R3.6.1	
	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額	商店数	年間販売額
山形県	13,710	12,222	12,047	10,775	11,700	11,425	11,343	11,979	10,011	11,966
庄内	3,706	3,099	3,260	2,670	3,131	2,792	3,038	2,869	2,667	2,845

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済センサス」

【表 4 9】従業者数の推移

(単位：人)

	H19.6.1		H24.2.1		H26.7.1		H28.6.1		R3.6.1	
	卸売業	小売業	卸売業	小売業	卸売業	小売業	卸売業	小売業	卸売業	小売業
山形県	24,681	74,401	23,769	68,918	24,143	69,589	24,335	67,267	21,358	66,731
庄内	6,035	18,866	5,683	17,266	5,704	17,282	5,670	16,692	5,201	16,620

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済センサス」

【表 5 0】小売業の売り場面積の推移

(単位：㎡)

	H19.6.1	H24.2.1	H26.7.1	H28.6.1	R3.6.1
山形県	1,703,001	1,525,026	1,581,770	1,485,793	1,524,663
庄内	440,893	392,562	393,042	370,954	393,939

資料：経済産業省「商業統計調査」、総務省「経済センサス」

(7) 労働

庄内地域の令和6年2月の有効求人倍率は、1.57倍（鶴岡1.64倍、酒田1.51倍）で前月と同じで、前年同月比では0.05ポイント減（県全体は1.35倍）。

【表51】有効求人倍率の推移

（単位：倍、ポイント）

	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年1月	R6年2月
庄内	1.90	1.92	1.63	1.36	1.66	1.77	1.57	1.57
	（前年同月比）						▲0.26P	▲0.05P
（鶴岡）	1.99	2.02	1.61	1.37	1.68	1.82	1.66	1.64
（酒田）	1.82	1.83	1.66	1.35	1.64	1.72	1.49	1.51
全県	1.59	1.64	1.47	1.11	1.35	1.57	1.37	1.35
	（前年同月比）						▲0.31P	▲0.17P

※ 新規学卒を除きパートタイムを含む全数
資料：山形労働局「労働市場月報」

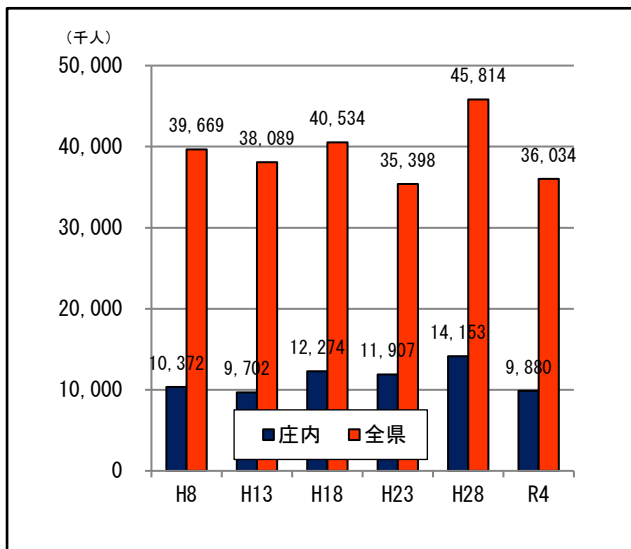
(8) 観光

令和4年度の庄内地域の観光者数は9,880千人(前年比113.5%増)で、県全体に占める比率は27.4%であった。

観光者数を類型別にみると、「道の駅」が最も多く、次いで「温泉観光地」となっている。個別にみると、「道の駅鳥海ふらっと」が1,807千人で最も多く、次いで「羽黒山」561千人、「酒田夢の倶楽」460千人、「産直あぐり」452千人、「庄内観光物産館」433千人の順となっている。

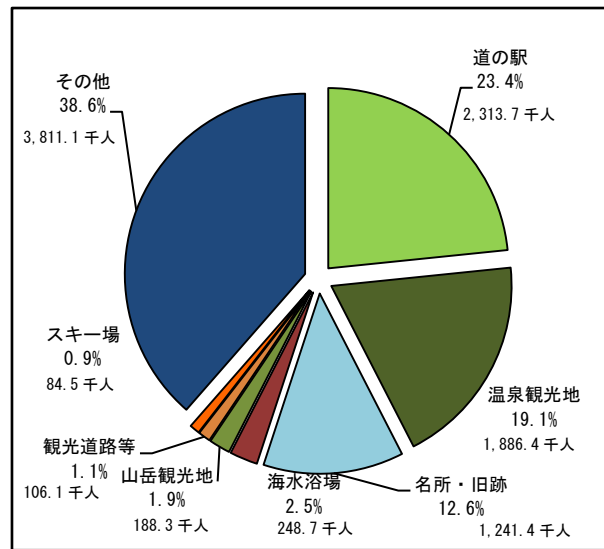
対前年比では、新型コロナに係る行動規制の緩和により「道の駅」、「スキー場」の類型を中心に観光者数が増加した。

【図15】年次別観光者数

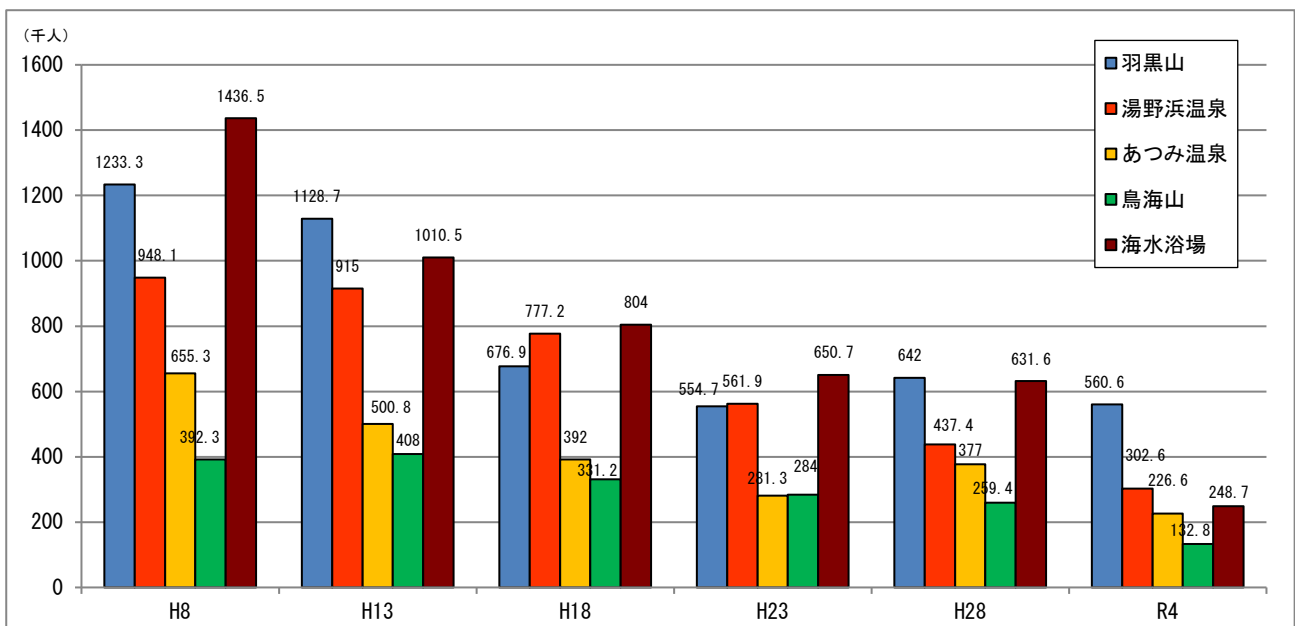


資料：山形県観光者数調査

【図16】観光地類型別観光者数(令和4年度)



【図17】観光客数の推移(管内主要観光地)



資料：山形県観光者数調査

(9) 「食の都庄内」づくり

イタリアンシェフ奥田政行氏による「食の都庄内」の提唱があり、平成16年度から「食の都庄内」づくりの取組みが開始。

○ コンセプト

庄内の四季折々の多彩な食材と、歴史・風土が育んだ食文化を、庄内の魅力として地域内外に発信するとともに、事業者や個人などによる、生産、加工、販売、観光交流等における多様かつ主体的な取組みをとおして、「食の都庄内」のブランド化を推進し、食を起点とした地域産業の活性化を図る。

○ 「食の都庄内」親善大使（庄内の「食材」と「食文化」をもとに、常に創造的な料理を生み出し、庄内の多彩な食の魅力を全国に発信する料理人）

奥田 政行（おくだ まさゆき）氏	アル・ケッチャーノ オーナーシェフ	H16 委嘱
古庄 浩（ふるしょう ひろし）氏	フードコーディネーター	H17 委嘱
土岐 正富（とき まさとみ）氏	日本料理研究家	H25 委嘱

○ 「食の都庄内」づくり推進会議

庄内地域の産学官金の関係機関・団体が参画し、官民一体となって「食の都庄内」づくりの実現に向けた取組みを推進するため、平成22年11月に設置。

○ 「食の都庄内」ブランド戦略会議

庄内管内2市3町及び庄内総合支庁が参画し、「食の都庄内」ブランドの形成及び食を起点とした地域産業の活性化を図ることを目的に、平成26年4月に設置。

○ 「食の都庄内」協力店

庄内の「食材」と「食文化」を活かした商品やサービスを提供し、積極的に庄内の食の魅力のPRを行う事業者。飲食店、ホテル・旅館、小売店、加工・製造業者など食に携わる事業者が対象。

店 数：587店（令和6年3月末日現在）

○ 「食の都庄内」サポーター

庄内の食の魅力をSNSや口コミ等で発信する個人

人 数：2,359名（令和6年3月末日現在）

協力店ステッカー



サポーターピンバッジ



「食の都庄内」公式SNS



10 交通基盤

(1) 道路

【表52】高規格幹線道路の整備状況（令和6年4月1日現在）

	全国		東北		山形県		庄内管内	
	延長 (km)	比率 (%)	延長 (km)	比率 (%)	延長 (km)	比率 (%)	延長 (km)	比率 (%)
予定路線延長	11,520	100	1,882	100	340	100	119	100
基本計画延長	10,623	92	1,791	95	287	84	119	100
整備計画延長	9,428	82	1,439	76	243	71	91	76
供用延長	10,284	89	1,773	94	292	86	91	76

【表53】庄内管内における高規格幹線道路の状況

路線名	延長	供用区間	整備中区間	供用(予定)
東北横断自動車道酒田線	約66km	湯殿山～庄内あさひ 9.9km 庄内あさひ～酒田 31.3km 酒田～酒田みなど 11.9km 計 53.1km	—	H12.9 H9.10 H13.8
日本海沿岸東北自動車道	約53km	あつみ温泉～鶴岡JCT 25.8km (鶴岡JCT～酒田みなど 27.5km)* 酒田みなど～遊佐比子 5.5km 遊佐比子～遊佐鳥海 6.5km	(酒田みなど～遊佐 12.0km) 県境～あつみ温泉 6.7km 遊佐～県境 8.0km	H24.3 R2.12 R6.3 (R8年度)
合計	約119km	90.9km	14.7km	

【表54】新庄酒田道路の状況

路線名	延長	供用区間	整備中区間	供用(予定)
新庄酒田道路	約50km	余目酒田道路 (酒田市新堀～東町) 5.9km (庄内町廻館～酒田市新堀) 6.8km	—	H27.11 H30.3
		新庄古口道路 (新庄市本合海～升形) 2.4km (戸沢村津谷～古口) 2.2km	(新庄市升形～戸沢村古口) 6.0km	H27.11 H30.7
		高屋道路 —	(戸沢村古口) 3.4km	(R6年度)
		高屋防災 —	(戸沢村古口) 4.4km	
		戸沢立川道路 —	(戸沢村古口～庄内町狩川) 5.8km	
		合計		17.3km

※日本海沿岸東北自動車道の鶴岡JCT～酒田みなどIC間(約27km)は東北横断自動車道酒田線と重用。
資料：山形県の高規格道路（R5年7月）に最新情報を加筆

【図18】山形県の高規格道路の整備状況(令和6年4月1日現在)

山形県の高規格道路の整備状況

令和6年4月1日時点

【区間毎の延長は、実延長で記載】



【表55】一般道路（国道、県道）の状況（庄内管内）（令和5年4月1日現在）

国直轄管理			県管理		
国道	7号	83.7km	国道	112号	47.8km
	47号	25.2km		344号	27.7km
	112号	41.2km		345号	103.8km
(小計)	3路線	150.1km	(小計)	3路線	179.3km
			主要地方道	16路線	237.8km
			一般県道	50路線	436.9km
合計	3路線	150.1km	合計	69路線	854.0km

資料:道路現況調査

【表56】県管理道路の状況（令和5年4月1日現在）

道路種別	実延長 (km)	改良済み		舗装済み		歩道延長 (km)	
		延長 (km)	改良率 (%)	延長 (km)	改良率 (%)	設置	延べ
一般国道							
(全県) 11路線	568.3	526.7	93%	551.6	97%	340.9	499.1
庄内 3路線	179.3	174.2	97%	174.3	97%	98.0	146.6
(112号)	47.8	47.8	100%	47.8	100%	23.8	39.6
(344号)	27.7	27.7	100%	27.7	100%	14.5	21.3
(345号)	103.8	98.7	95%	98.8	95%	59.8	85.8
主要地方道							
(全県) 61路線	1,151.7	1,063.3	92%	1,085.5	94%	582.3	825.4
庄内 16路線	237.8	229.3	96%	235.5	99%	157.3	217.0
一般県道							
(全県) 187路線	1,370.8	1,189.9	87%	1,226.1	89%	577.5	791.2
庄内 50路線	436.9	394.1	90%	395.5	91%	194.0	251.0
県管理道路計							
(全県) 259路線	3,090.9	2,779.8	90%	2,863.2	93%	1,500.7	2,115.8
庄内 69路線	854.0	797.5	93%	805.3	94%	449.4	614.6

※1 国土交通省直轄管理区間を除く

資料:道路現況調査

(2) 鉄道

庄内地域では、日本海縦貫線の一部を成し新潟県新津市と秋田県秋田市を結ぶ「羽越本線」、庄内地域と内陸地域を連絡する「陸羽西線」の2本の鉄道が運行されている。

羽越本線は、全線電化されており、全体の約半分（県内では約7割）が複線化されているが、陸羽西線は、非電化・単線となっている。また、令和4年5月より、新庄酒田道路の高屋トンネル工事に伴い、双方の安全確保のため列車での運行を休止し、代行バスの運行となっている。

【表57】羽越本線と陸羽西線の状況

	羽越本線	羽越本線県内区間	陸羽西線
延長	新津～秋田 271.7km	鼠ヶ関～女鹿 91.5km (33.7%)	新庄～余目 43.0km
駅数	60	23	8
複線化率	50.9%	68.3%	0% (単線)
電化率	100%	100%	0% (非電化)

資料：山形県鉄道利用・整備強化促進期成同盟会『山形県の鉄道輸送』（令和5年3月版）

【表58】庄内～東京間ダイヤ比較

◆ 鶴岡～東京間

	キロ数	最短所要時間	平均所要時間	新幹線接続数
羽越本線経由	474.6km	3時間26分	3時間53分	特急上下各7本
陸羽西線経由	479.7km	陸羽西線運休に伴い、代行バスによる運行		

◆ 酒田～東京間

	キロ数	最短所要時間	平均所要時間	新幹線接続数
羽越本線経由	502.1km	3時間45分	4時間13分	特急上下各7本
陸羽西線経由	476.6km	陸羽西線運休に伴い、代行バスによる運行		

資料：庄内総合支庁総務課連携支援室調べ（令和6年3月16日現在）

(3) バス

【表59】都市間定期高速バスの運行状況

	運行回数	所要時間（酒田基点）	備考
庄内～東京間	庄内⇄渋谷線 1往復 庄内⇄新宿線 1往復	約8時間45分	
庄内～東京間	庄内⇄東京ディズニーランド 1往復	約9時間00分	H29.10.1運行開始 ※運休中
庄内～関西間	庄内⇄京都・大阪・USJ線 1往復	約13時間50分	H29.4.28運行開始 ※運休中
庄内～仙台間	庄内⇄仙台 14往復 ※1往復 仙台空港まで延伸（コロナ影響で運休中）	約3時間40分 約4時間05分	H31.4.1運行開始
庄内～山形間	庄内⇄山形 8往復	約2時間44分	

資料：庄内交通高速バス時刻表（令和6年4月改正）

(4) 港湾

酒田港の令和5年の取扱貨物量は、外貨貨物（輸出入）が1,839,450トン（前年比12.3%減）、内貨貨物（移出入）が855,738トン（前年比13.9%減）、全貨物量が2,695,188トン（前年比12.8%減）となった。

コンテナ貨物量（実入りコンテナ）は、輸出が3,675TEU（前年比48.8%減）、輸入が5,622TEU（前年比14.5%減）、輸出入合計が9,297TEU（前年比32.4%減）となった。

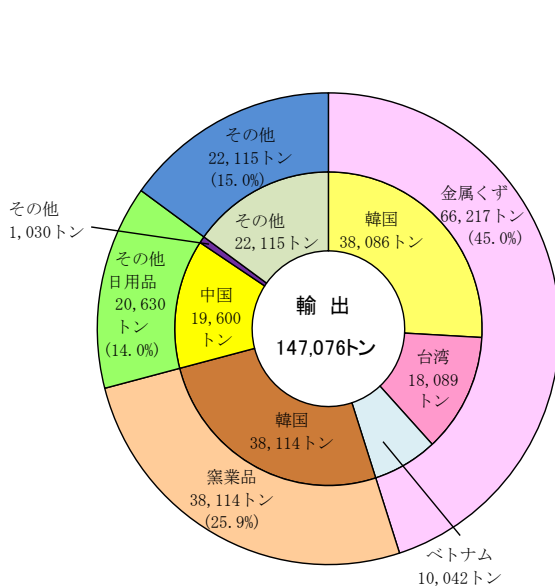
【表60】輸移出入貨物取扱量の推移

（単位：トン）

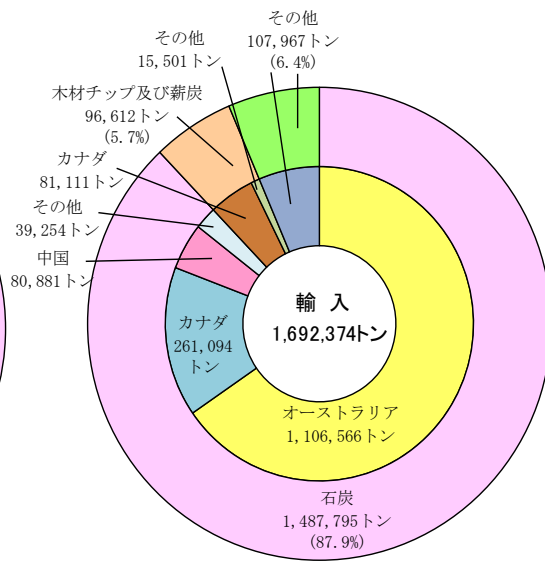
区分		平成15年	平成20年	平成25年	平成30年	令和5年
外貨	輸出	90,796	127,657	194,606	309,516	147,076
	輸入	2,063,377	2,079,922	2,104,971	2,038,772	1,692,374
	計	2,154,173	2,207,579	2,299,577	2,348,288	1,839,450
内貨	移出	883,368	836,116	788,240	280,657	225,921
	移入	1,057,795	795,382	707,844	653,955	629,817
	計	1,941,163	1,631,498	1,496,084	934,612	855,738
合計		4,095,336	3,839,077	3,795,661	3,282,900	2,695,188

資料：酒田港統計年報

【図19】輸出貨物品種（147千トン）の内訳



【図20】輸入貨物品種（1,692千トン）の内訳



資料：酒田港統計年報

【表61】コンテナ貨物量の推移

（単位：TEU）

区分		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
実入りコンテナ	輸出	16,823	13,634	10,897	7,184	3,675
	輸入	8,506	8,245	7,716	6,579	5,622
	計	25,329	21,879	18,613	13,763	9,297
総数 (空コンテナ込)	輸移出	20,281	18,498	15,292	11,792	6,996
	輸移入	20,819	17,520	15,654	10,238	7,265
	計	41,100	36,018	30,946	22,030	14,261
便数		129	157	136	116	122

資料：酒田港統計年報

(5) 空港

庄内空港は、平成3年10月に開港し、定期便等の総利用者数は11,316,469人となった。(令和5年12月31日現在、チャーター便利用者数含まず)

東京線(羽田便)は、平成15年7月から4便化され、また、平成18年4月からは夜間駐機が実施されて東京滞在が約12時間可能になるなど、庄内側からの利便性が大幅に向上している。

令和元年8月1日からはジェットスター・ジャパンの東京線(成田便)1往復が就航したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年3月28日から路線休止となっている。

チャーター便(国際・国内)については、開港当初から令和5年12月末までに628便が運航されて、利用者は74,747人となっている。

なお、大阪線(就航:平成3年10月~平成21年3月)及び札幌線(就航:平成7年6月~平成20年3月・季節運航期間含む)は、利用者の減少等により路線休止となっている。

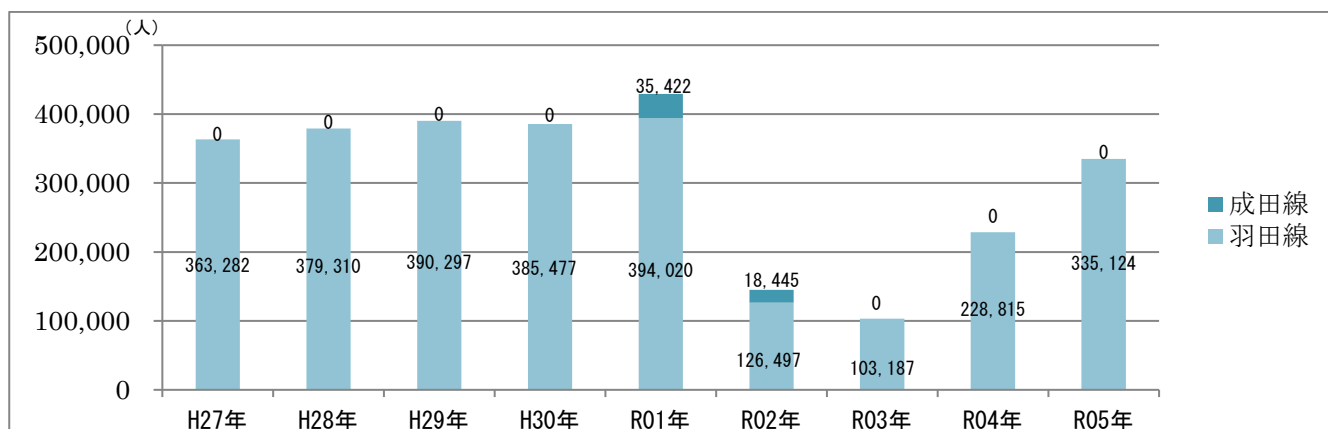
【表62】庄内空港定期便等利用状況の推移(暦年)

上段:利用者数(人)、下段:搭乗率(%)

		H27年	H28年	H29年	H30年	R01年	R02年	R03年	R04年	R05年
東京線	東京→庄内	183,969 69.3	189,889 67.2	195,983 66.8	195,425 73.5	198,767 70.9	63,009 43.7	51,721 53.5	115,734 55.1	168,519 66.0
	庄内→東京	179,313 67.6	189,421 67.1	194,314 66.3	190,052 71.8	195,253 69.7	63,488 44.2	51,466 53.4	113,081 54.0	166,605 65.2
	計	363,282 68.4	379,310 67.1	390,297 66.5	385,477 72.7	394,020 70.3	126,497 44.0	103,187 53.4	228,815 54.5	335,124 65.6
	成田→庄内	—	—	—	—	17,196 64.1	8,898 37.2	—	—	—
	庄内→成田	—	—	—	—	18,226 68.0	9,547 39.9	—	—	—
	計	—	—	—	—	35,422 66.0	18,445 38.5	—	—	—
合計	363,282 68.4	379,310 67.1	390,297 66.5	385,477 72.7	429,442 69.9	144,942 43.2	103,187 53.4	228,815 54.5	335,124 65.6	
利用者数累計	8,919,875	9,299,185	9,689,482	10,074,959	10,504,401	10,649,343	10,752,530	10,981,345	11,316,469	

資料:庄内空港事務所調べ

【図21】庄内空港定期便等利用状況の推移(暦年)



資料:庄内空港事務所調べ

11 河川・海岸・砂防

(1) 河川

庄内管内には155本の河川、総延長にして793kmがあり、うち知事管理区間は154本、河川延長719kmである。

知事管理河川整備率については、最上川水系46%、赤川水系13%、二級水系が52%であり、これからも人と水との関わりの再構築を図る中「健康で豊かな生活環境と美しい自然環境が調和した、安全で安心して暮らせる県土づくり」に向け整備を推進する。

【表63】直轄河川の管理・改修状況（大臣管理、全県）（令和5年3月末現在）

区分	河川本数 (本) (※1)	河川延長 (km)	要改修 延長(※2) (km)	整備済 延長(※3) (km)	整備済 比率 (%)	所管
最上川上流	14	145.2	178.4	165.2	92.6	山形河川国道
最上川中流	7	101.4	87.9	64.5	73.5	新庄河川
最上川下流	4	37.2	59.8	59.8	100.0	酒田河川国道
最上川計	25	283.8	326.1	289.5	88.8	
赤川	3	37.5	61.5	57.0	92.8	酒田河川国道
荒川	-	-	-	-	-	羽越河川国道
計	28	321.3	387.6	346.5	89.4	

※1 最上川（上流・中流・下流）の河川数は、それぞれ本川を含む数値である。ダム工事・管理事務所所管分は除く

※2 要改修延長は左右岸合計の延長である。

※3 整備済延長とは完成堤防の左右岸合計延長のことであり、整備済延長は、暫定改修済み延長を含まない。

【表64】直轄河川管理・改修状況（大臣管理、庄内）（令和5年3月末現在）

区分	河川本数 (本) (※1)	河川延長 (km)	要改修 延長(※2) (km)	整備済 延長(※3) (km)	整備済 比率 (%)	所管
最上川下流	4	37.2	59.8	59.8	100.0	酒田河川国道
赤川	3	37.5	61.5	57.0	92.8	酒田河川国道
計	7	74.7	121.3	116.8	96.3	

※1 最上川（下流）の河川数は、本川を含む数値である。

※2 要改修延長は左右岸合計の延長である。

※3 整備済延長とは完成堤防の左右岸合計延長のことであり、整備済延長は、暫定改修済み延長を含まない。

【表 6 5】 県河川管理・改修状況（知事管理、全県）（令和 5 年 3 月末現在）

区 分	河川本数 (本)	指定区間 延長 (km)	要改修 延長(※1) (km)	整備済 延長(※2) (km)	整備済 比率 (%)
一級河川	495	2,549.8	1,586.3	686.1	43.3
二級河川	59	269.7	172.0	90.1	52.4
合 計	554	2,819.5	1,758.3	776.2	44.1

※1 要改修延長とは、知事管理区間延長から 2-7 区間、改修不要区間、砂防区間を除いたものである。

※2 整備済延長とは、60 分間雨量 40 mm 相当以上の完成または暫定の改修を行った延長である。

※3 河川延長は令和 5 年 6 月 1 日現在「山形県河川調書」による。

※4 要改修延長、整備済延長は、「令和 4 年度末河川現況調査（16 段階調査）（令和 5 年 3 月 31 日現在）」による。

【表 6 6】 県河川管理・改修状況（知事管理、庄内）（令和 5 年 3 月末現在）

区 分		河川本数 (本)	指定区間 延長 (km)	要改修 延長(※1) (km)	整備済 延長(※2) (km)	整備済 比率 (%)
一級河川	最上川水系	51	219.6	163.0	77.0	47.2
	赤川水系	44	229.3	119.9	15.1	12.6
	計	95	448.9	282.9	92.1	32.6
二級河川	月光川水系他	59	269.7	172.0	90.1	52.4
合 計		154	718.6	454.9	182.2	40.1

※1 要改修延長とは、知事管理区間延長から 2-7 区間、改修不要区間、砂防区間を除いたものである。

※2 整備済延長とは、60 分間雨量 40 mm 相当以上の完成または暫定の改修を行った延長である。

※3 河川延長は令和 5 年 6 月 1 日現在「山形県河川調書」による。

※4 要改修延長、整備済延長は、「令和 4 年度末河川現況調査（16 段階調査）（令和 5 年 3 月 31 日現在）」による。

（2）海岸

山形県の海岸延長は約 135km であり、水管理・国土保全局 69km、港湾局 35km、水産庁 31km を各々が管理している。

平成 15 年 12 月に「庄内砂丘と松林に支えられた暮らしを守り、鳥海山を望む美しい景観を生かした賑わいのある海岸の創出にむけて」を目標に、「山形県沿岸海岸保全基本計画」を策定（平成 28 年 4 月変更）し、災害からの海岸の防護に加え、海岸環境の整備と保全及び公衆の海岸の適正な利用の確保を図り、これらが調和するよう総合的な海岸の保全を推進する。

【表 6 7】 海岸管理延長（令和 5 年 3 月末現在）

区 分	海岸延長 (km)	保全区域指定延長 (km)	その他延長 (km)
国土交通省 水管理・国土保全局	68.8	49.1 (71.4%)	19.7
国土交通省 港湾局	34.8	10.6 (30.5%)	24.2
農林水産省 水産庁	31.0	12.3 (39.7%)	18.7
合 計	134.6	72.0 (53.5%)	62.6

(3) 砂防

庄内管内は、土石流・地すべり・急傾斜地の崩壊に係る土砂災害警戒区域が1,583箇所と多く、着実に事業を進めているものの、各区分において2～3割程度の整備率にとどまっている。土砂災害から県民の生命と財産を守るため、ハード対策とソフト対策の両面で総合的な土砂災害の対策を推進する。

【表68】砂防関係現況（令和6年3月末現在）

区 分	法指定区域			整備率(%)	
	全県	庄内	指定区分	全県	庄内
土石流	2,043	546	砂防指定地（水系含み）	24.5	31.3
	2,180	693	土砂災害警戒区域等		
地すべり	99	17	地すべり防止区域	43.3	28.3
	758	184	土砂災害警戒区域等		
急傾斜地の崩壊	327	125	急傾斜地崩壊危険区域	19.8	23.5
	2,249	706	土砂災害警戒区域等		
合 計	2,469	688	指定地・防止区域等		
	5,186	1,583	土砂災害警戒区域等		

※ 土砂災害警戒区域の整備率は全国的に集計ルールが決まっていないため、県独自の集計

※ 土砂災害警戒区域数は毎年度増減があるため、区分別の整備率も毎年度増減する。

(4) ダム

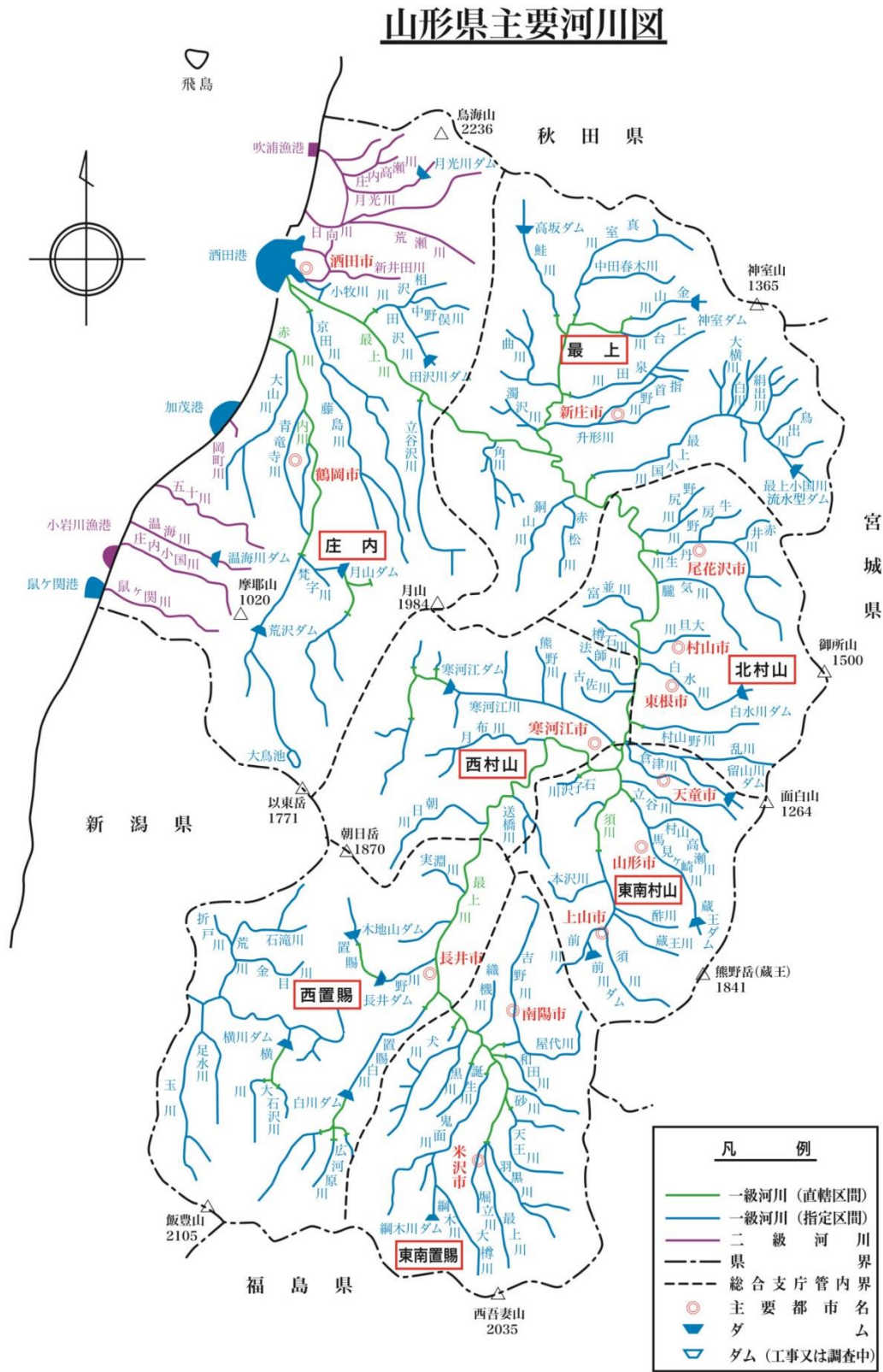
庄内管内には県管理ダムが4箇所あり、堤体や貯水池周辺の安全を確保し、諸設備をいつでも機能しうる状態に保つための点検、整備、補修等の施設管理に関する業務と、洪水調節や利水補給等ダムの所期の目的を発揮させるための観測、制御、操作等の機能管理に関する業務を行っている。

【表69】県管理ダム一覧表

河川名	ダム名	目的	形式	堤高(m)	堤長(m)	堤体積(m ³)	有効容量(千m ³)	竣工年月
赤川	荒沢	治水・発電・流水機能維持	重力式C	63.0	195.5	156,000	30,870	S31.3
月光川	月光川	治水	重力式C ロックフィル	48.0	205.0	C 122,500 R 50,000	1,670	S54.3
温海川	温海川	治水・発電・流水機能維持	重力式C	60.0	167.0	135,000	4,400	S62.3
田沢川	田沢川	治水・水道・流水機能維持	重力式C	81.0	185.0	217,000	7,900	H14.3

※ Cはコンクリート、Rはロックフィル

【図22】山形県の主要河川図



12 住 宅

(1) 新設住宅の状況

県全体の新設住宅着工戸数は、平成 30 年度まで緩やかな増加傾向が続いていたが、令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響等により 5 千戸を下回った。その後、令和 3 年度はわずかに増加に転じたものの、令和 4 年度には、令和 2 年度を下回っている。

庄内地域では、長期的には平成 8 年度の 3,225 戸をピークに減少傾向にある。平成 27 年度は三隣亡明け及び消費増税の反動から県全域で増加し、庄内地域でも増加したが、平成 30 年度より減少に転じている。

【表 70】新設住宅着工戸数の推移 (平成 29～令和 4 年度は 3 月末、令和 5 年度は 2 月末現在)

		H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
全 国(戸)		946,396	952,936	883,687	812,164	865,909	860,828	735,911
対前年比(%)		△2.8	0.7	△7.3	△8.1	6.6	△0.6	△8.2
着 工 戸 数 (戸)	村山	3,493	3,635	3,286	2,951	3,080	2,590	2,416
	最上	193	209	218	163	223	177	163
	置賜	1,037	1,294	1,043	781	774	737	653
	庄内	1,245	1,069	1,150	1,015	1,107	1,055	876
	県計	5,968	6,207	5,697	4,910	5,184	4,559	4,108
対 前 年 比 (%)	村山	14.6	4.1	△9.6	△10.2	4.4	△15.9	1.2
	最上	△19.9	8.3	4.3	△25.2	36.8	△20.6	16.4
	置賜	△1.5	24.8	△19.4	△25.1	△0.9	△4.8	△5.9
	庄内	6.0	△14.1	7.6	△11.7	9.1	△4.7	△9.6
	県計	8.2	4.0	△8.2	△13.8	5.6	△12.1	△1.2

資料：県土整備部建築住宅課

(2) 公営住宅の整備状況

県と市町では、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的に、公営住宅法に基づき住宅困窮者のための公営住宅を整備している。

【表 71】県営住宅の整備状況 (管理戸数)

		鶴岡市	酒田市	三川町	庄内町	遊佐町	計
県営住宅	団地数(団地)	6	6	0	2	1	15
	管理戸数(戸)	268	402	0	34	16	720
市町営住宅	団地数(団地)	14	23	2	7	3	49
	管理戸数(戸)	811	774	28	121	26	1,760
計	団地数(団地)	20	29	2	9	4	64
	管理戸数(戸)	1,079	1,176	28	155	42	2,480

資料：県土整備部建築住宅課

13 下水道

庄内地域の生活排水処理施設は、都市部にあっては公共下水道、農村部にあっては農業集落排水、山間部等の地域にあっては合併浄化槽方式で整備されてきた。

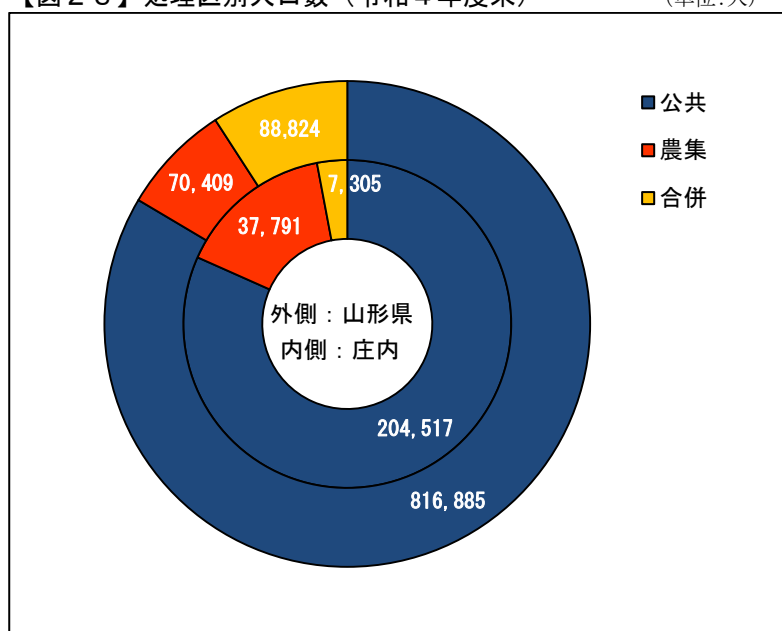
地形が多様なこともあり、普及率は市町村によって大きく異なる現状にあるが、県平均 94.2% をやや上回る 97.5% の普及率となっている。処理区別人口は県全体と比較すると庄内は農村部の割合が大きいという特徴がみられる。

なお、県が事業主体として関わっている事業としては、最上川流域下水道事業（庄内処理区）がある。

◇生活排水処理施設の普及状況

普及率（令和4年度末）：97.5%（県平均 94.2%）

【図23】処理区別人口数（令和4年度末）（単位：人）



資料：県土整備部下水道課

【表72】最上川下流域下水道事業（庄内処理区）の概要

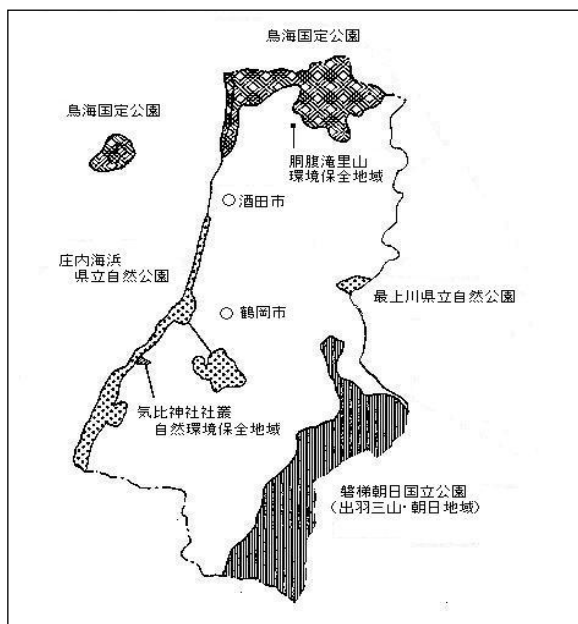
名称	庄内処理区
計画処理面積	2,299ha
計画処理人口	38,050人
関係市町	鶴岡市・酒田市・庄内町・三川町

14 環境

(1) 自然

庄内地域には、出羽三山に代表される磐梯朝日国立公園や飛島を含めた鳥海国立公園、白砂青松の庄内海浜県立自然公園があり、これらの自然公園の面積は当地域の22.0%を占めている。また、イヌワシの生息や渡り鳥の集団飛来地など国指定の鳥獣保護区のほか、天然ブナ林や海岸の松林、常緑のタブ林など動植物の多様性にも恵まれた地域である。

【図24】自然公園等位置図



【表73】自然公園面積（令和5年3月31日現在）

区分	区域面積 (ha)	自然公園 (ha)				割合 (%)
		国立公園	国定公園	県立公園	計	
庄内地域	240,528	33,140	13,553	6,267	52,960	22.0
山形県	932,315	71,116	42,255	42,139	155,510	16.7
全国	37,797,464	2,195,586	1,494,468	1,915,020	5,605,074	14.8

【表74】ガンカモ科鳥類生息調査結果（各年度1月実施）

(単位：羽)

年度		ハクチョウ類	ガン類	カモ類	合計
令和2年度	庄内	5,103	498	16,464	22,065
	山形県	5,759	498	25,159	31,416
	全国	68,545	113,724	1,443,486	1,625,755
令和3年度	庄内	9,700	1,601	18,225	29,526
	山形県	10,479	1,653	24,796	36,928
	全国	75,995	214,980	1,504,611	1,795,586
令和4年度	庄内	7,762	731	34,047	42,540
	山形県	8,181	731	36,153	45,065
	全国	77,153	310,718	1,585,166	1,973,037

資料：環境省、環境エネルギー部みどり自然課調べ

(2) 大気・水環境

庄内地域の大气環境については、二酸化硫黄、二酸化窒素、浮遊粒子状物質は全局で環境基準を達成した。広域的な大气汚染である光化学オキシダントは環境基準を超過したが、注意報発令基準未満であった。平成 24 年度から測定を開始した微小粒子状物質（PM_{2.5}）は、全局で環境基準を達成した。

水環境についても、河川・海域とも、全水域で環境基準で達成した。

下水道や浄化槽等の生活排水処理施設の普及率は 97.5%であり、県平均を上回っている。

【表 7 5】大気汚染の状況

(○：環境基準を達成、×：環境基準を達成していない)

測定項目	測定局	令和2年度 測定値	達成 状況	令和3年度 測定値	達成 状況	令和4年度 測定値	達成 状況	環境基準
二酸化硫黄 (ppm)	酒田若浜	0.001	○	0.001	○	0.001	○	0.04 以下
	余目	0.001	○	0.001	○	0.001	○	
	鶴岡錦町	0.001	○	0.001	○	0.001	○	
二酸化窒素 (ppm)	酒田若浜	0.007	○	0.008	○	0.007	○	0.06 以下
	余目	0.007	○	0.008	○	0.005	○	
	鶴岡錦町	0.013	○	0.011	○	0.011	○	
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	酒田若浜	0.029	○	0.019	○	0.020	○	0.10 以下
	余目	0.026	○	0.018	○	0.020	○	
	鶴岡錦町	0.025	○	0.019	○	0.019	○	
光化学オキシダント (ppm)	酒田若浜	0.090	×	0.092	×	0.090	×	0.06 以下
	鶴岡錦町	0.078	×	0.080	×	0.088	×	

測定項目	測定局	令和3年度			令和4年度			環境基準
		測定値		達成状況	測定値		達成状況	
		1年平均値	1日平均値		1年平均値	1日平均値		
微小粒子状物質 (PM _{2.5}) (μg/m ³)	酒田若浜	5.7	16.0	○	8.2	18.8	○	1年平均値 15 以下 かつ 1日平均値 35 以下
	余目	5.4	17.3	○	7.1	17.3	○	
	鶴岡錦町	5.0	13.6	○	7.5	19.0	○	

※二酸化硫黄、浮遊粒子状物質は、日平均値の2%除外値 二酸化窒素は、日平均値の98%値 光化学オキシダントは、昼間の1時間値の最高値。微小粒子状物質（PM_{2.5}）の1日平均値は、1日平均値の年間98パーセントイル値

資料：環境エネルギー部水大気環境課「令和4年度山形県の大気・水環境等の状況」

【表76】公共用水域の水質汚濁の状況（河川 - BOD）

（単位：mg/l）

水系	環境基準 類型指定水域名	環境基準地点 (所在地)	令和2年度		令和3年度		令和4年度		環境 基準
			測定値	達成 状況	測定値	達成 状況	測定値	達成 状況	
最上川	最上川中・下流	両羽橋（酒田市落野目）	0.7	○	0.9	○	0.7	○	A(2以下)
最上川水系	立谷沢川（全域）	東雲橋（庄内町清川）	<0.5	○	0.5	○	<0.5	○	A(2以下)
	相沢川（全域）	宝永橋（酒田市相沢）	0.5	○	0.6	○	0.9	○	A(2以下)
	藤島川（全域）	昭和橋（酒田市広野）	1.6	○	0.8	○	1.0	○	A(2以下)
	京田川（全域）	亀井橋（酒田市広野）	1.9	○	1.0	○	1.1	○	A(2以下)
赤川水系	梵字川（全域）	立岩橋（鶴岡市下名川）	0.7	○	<0.5	○	0.6	○	A(2以下)
	赤川（全域）	東橋（鶴岡市東岩本）	<0.5	○	0.7	○	0.5	○	A(2以下)
		蛾眉橋（三川町横山）	0.7	○	0.6	○	0.7	○	
		新川橋（酒田市浜中）	0.7	○	1.1	○	0.8	○	
	内川（全域）	西三川橋（鶴岡市大宝寺町）	1.4	○	1.0	○	1.0	○	B(3以下)
	青竜寺川（全域）	青山橋（三川町青山）	1.3	○	0.8	○	1.0	○	A(2以下)
	大山川（全域）	観山橋（鶴岡市面野山）	1.8	○	1.4	○	1.2	○	B(3以下)
その他の水系	月光川（全域）	菅里橋（遊佐町菅里）	1.2	○	0.7	○	0.8	○	A(2以下)
	洗沢川（全域）	吹浦橋（遊佐町吹浦）	1.6	○	0.6	○	0.8	○	A(2以下)
	荒瀬川（全域）	八幡橋（酒田市市条）	1.1	○	<0.5	○	0.5	○	A(2以下)
	日向川（全域）	日向橋（酒田市穂積）	0.8	○	0.5	○	<0.5	○	A(2以下)
	新井田川（全域）	浜田橋（酒田市新井田町）	4.5	×	1.7	○	1.3	○	B(3以下)
	五十川（全域）	古四王橋（鶴岡市五十川）	0.8	○	0.5	○	0.8	○	A(2以下)
	豊川（全域）	豊橋（酒田市豊里）	1.9	○	0.7	○	1.0	○	A(2以下)
	温海川（全域）	温海橋（鶴岡市温海）	0.9	○	0.5	○	0.8	○	A(2以下)
	庄内小国川（全域）	岩川橋（鶴岡市岩川）	0.9	○	<0.5	○	0.6	○	A(2以下)
	鼠ヶ関川（全域）	蓬莱橋（鶴岡市鼠ヶ関）	0.9	○	<0.5	○	0.6	○	A(2以下)

※BOD：水中の汚染物がバクテリアによって分解されるときに必要な酸素の量をいい、河川の汚染状態を表す指標。

資料：環境エネルギー部水大気環境課「令和4年度山形県の大气・水環境等の状況」

【表77】公共用水域の水質汚濁の状況（海域 - COD）

(単位：mg/l)

環境基準 類型指定水域名	環境基準地点	令和2年度		令和3年度		令和4年度		環境 基準
		測定値	達成 状況	測定値	達成 状況	測定値	達成 状況	
酒田港（第1区域）	No. 6	1.8	○	2.3	○	2.0	○	B(3以下)
酒田港（第2区域）	No. 5	2.1	○	2.7	○	1.8	○	B(3以下)
酒田港（第3区域）	No. 2	2.6	○	2.9	○	2.6	○	B(3以下)
酒田港（第4区域）	No. 7	1.8	○	2.3	○	1.8	○	B(3以下)
	No. 9	2.2		2.1		1.8		
酒田港（第5区域）	No. 11	2.2	○	2.1	○	2.1	○	B(3以下)

※COD：水中の汚染物が酸化剤によって分解されるときに必要な酸素の量をいい、湖沼及び海域の汚染状態を表す指標。

資料：環境エネルギー部水大気環境課「令和4年度山形県の大气・水環境等の状況」

【表78】生活排水処理施設の整備状況

(単位：%)

市町村名	令和2年度末				令和3年度末				令和4年度末			
	生活排水処理施設普及率				生活排水処理施設普及率				生活排水処理施設普及率			
	合計	公共下水道	農業集落 排水等	合併浄化槽	合計	公共下水道	農業集落 排水等	合併浄化槽	合計	公共下水道	農業集落 排水等	合併浄化槽
鶴岡市	95.1	79.3	13.4	2.5	95.7	79.8	13.2	2.6	96.3	80.6	13.1	2.6
酒田市	98.5	79.7	15.4	3.5	98.6	79.8	15.3	3.5	98.6	80.1	15.1	3.4
三川町	100.0	65.0	34.4	0.7	100.0	65.0	34.4	0.7	100.0	65.3	34.1	0.6
庄内町	99.4	78.1	19.7	1.7	99.5	78.4	19.5	1.6	99.5	78.8	19.1	1.6
遊佐町	95.9	80.9	11.0	4.0	95.8	80.8	11.0	4.1	96.1	81.3	10.9	3.9
庄内管内	96.9	79.0	15.1	2.8	97.2	79.4	14.9	2.9	97.5	79.9	14.8	2.9
山形県	93.6	78.1	7.0	8.5	93.9	78.4	6.9	8.6	94.2	78.8	6.8	8.6

$$\text{※生活排水処理施設普及率 (\%)} = \frac{\text{下水道・農業集落排水施設等を利用できる利用人口} + \text{合併浄化槽を利用している人口}}{\text{行政人口 (住民基本台帳人口)}}$$

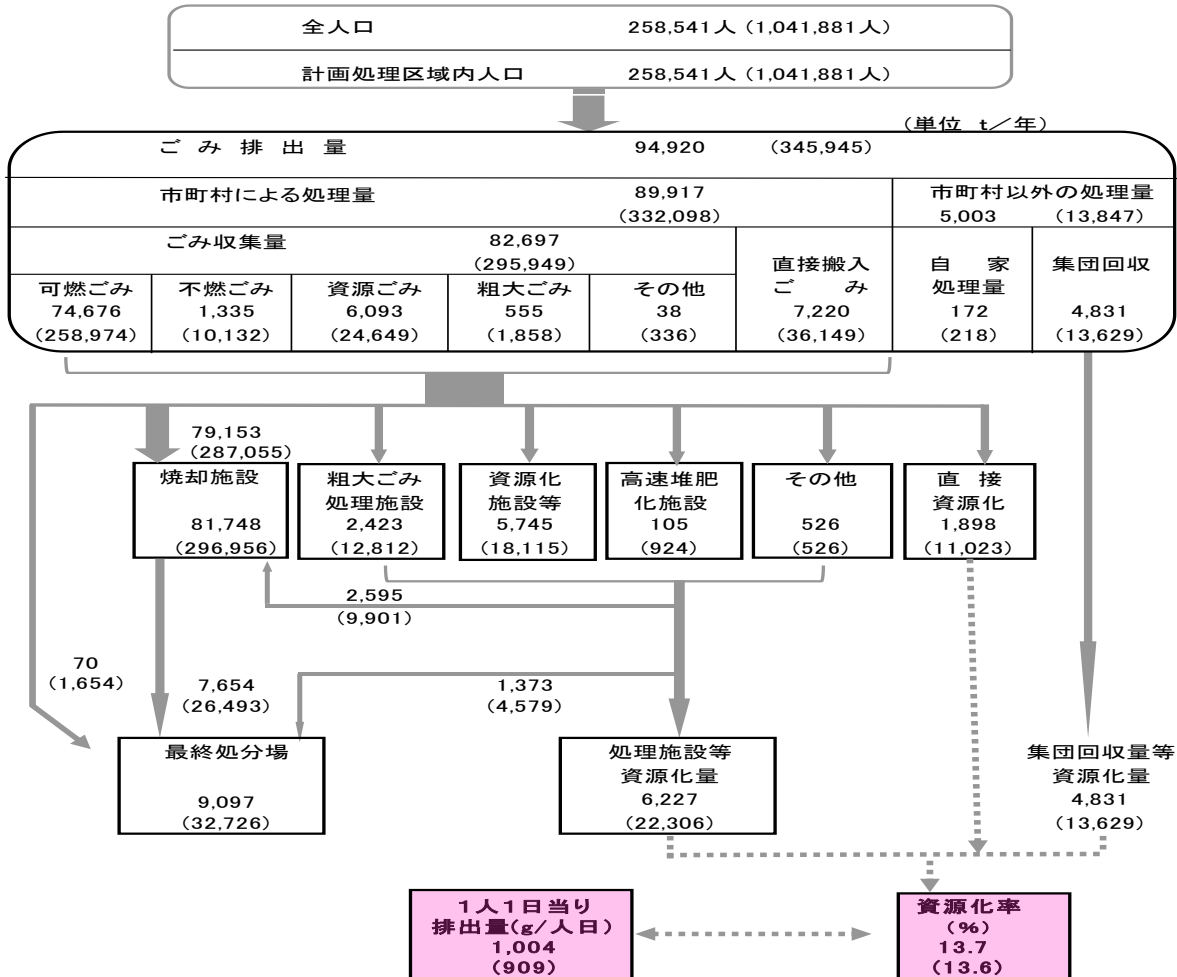
資料：環境エネルギー部水大気環境課「山形県における生活排水処理施設の普及状況について」

(3) 廃棄物・リサイクル

庄内地域の一般廃棄物の年間発生量は約9万5千トンで、うち約9千トンが最終処分場に埋め立てられ、約1万1千トンが資源化され、資源化率は13.7%となっている。産業廃棄物については、管内における中間・最終処理量は約42万トンとなっている。

海岸漂着物については、沿岸2市1町と連携した回収処理に加え、自治会やNPO・民間ボランティアによる海岸清掃活動も活発に行われている。

【図25】庄内地域のごみ（一般廃棄物）処理系統図（令和4年度）



※1 () は県全体の量

※2 1人1日当り排出量 = (市町村による処理量+集団回収量) ÷ 全人口 ÷ 365 × 1,000,000 (g/人日)

※3 資源化率 = 資源化量 (直接+施設+集団回収) ÷ (市町村による処理量+集団回収) × 100 (%)

資料：環境エネルギー部循環型社会推進課「令和4年度版山形県循環型社会白書」

【表79】一般廃棄物の処理状況の推移

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市町村で処理するごみの排出量 (t/年)	庄内	101,954	92,288	90,795	89,917
	山形県	364,842	338,279	334,166	332,098
1人1日当り排出量 (g/人日)	庄内	1,034	949	1,002	1,004
	山形県	922	901	904	909
資源化率 (%)	庄内	13.8	13.7	13.8	13.7
	山形県	14.4	13.3	13.7	13.6

資料：環境エネルギー部循環型社会推進課「令和4年度版山形県循環型社会白書」

【表 8 0】庄内地域の産業廃棄物処理施設設置・処理状況（令和 4 年度）

令和 6 年 3 月 31 日現在

施設の種類		排出事業者		処理業者				計		
		許可施設数	処理実績 (t)	許可施設数	規模未 満施設数	計	処理実績 (t)	許可施設数	全施設数	処理実績 (t)
汚泥	脱水等	4	21,775	5	1	6	3,222	9	10	24,997
廃油	油水分離等	1	29,400	2		2	860	3	3	30,260
廃プラスチック類	破碎・焼却等			12	14	26	29,830	12	26	29,830
紙くず・木くず等	焼却									
木くず	破碎等			5	1	6	16,978	5	6	16,978
がれき類	破碎等	3	3,029	26		26	243,872	29	29	246,901
その他					77	77	130,118		77	130,118
中間処理計		8	54,204	50	93	143	424,880	58	151	479,084
管理型最終処分場		1	0					1	1	0
合 計		9	54,204	50	93	143	424,880	59	152	479,084

※1 排出事業者許可施設数：排出事業者が設置する産業廃棄物処理施設（15条施設）のうち処理実績のある施設数
 処理業者許可施設数：産業廃棄物処理業者が設置する産業廃棄物処理施設（15条施設）のうち処理実績のある施設数
 処理業者規模未満施設数：産業廃棄物処理業者が設置する産業廃棄物の処理施設（15条施設に該当しない施設）のうち処理実績のある施設数

※2 処理実績は、各区分の主な対象物以外の実績も含み、施設全体の処理実績を表す。

※3 処理業者の実績には、委託を受けて処理した産業廃棄物の他に、自社の排出した産業廃棄物の処理実績も含む。

資料：「令和 5 年度産業廃棄物に係る実績報告取りまとめ」庄内総合支庁環境課集計

【表 8 1】不法投棄の状況

	令和 2 年度				令和 3 年度			令和 4 年度			令和 5 年度		
	前年度 末件数	新規発 見件数	改善 件数	年度末 件数	新規発 見件数	改善 件数	年度末 件数	新規発 見件数	改善 件数	年度末 件数	新規発 見件数	改善 件数	年度末 件数
庄内地域	6	0	2	4	2	2	4	1	0	5	0	1	4
山形県内	14	4	8	10	2	6	6	1	2	5	1	0	5

※ 30㎡以上のもの。改善には自然同化を含む。

資料：庄内総合支庁環境課集計

（4）再生可能エネルギー

庄内地域では、太陽光発電、風力発電、バイオマス発電が他地域に比べ、多く導入されている。特に、風力発電は県全体の多くを占めている。

一方、水力発電の導入は他地域に比べると少ない状況となっている。

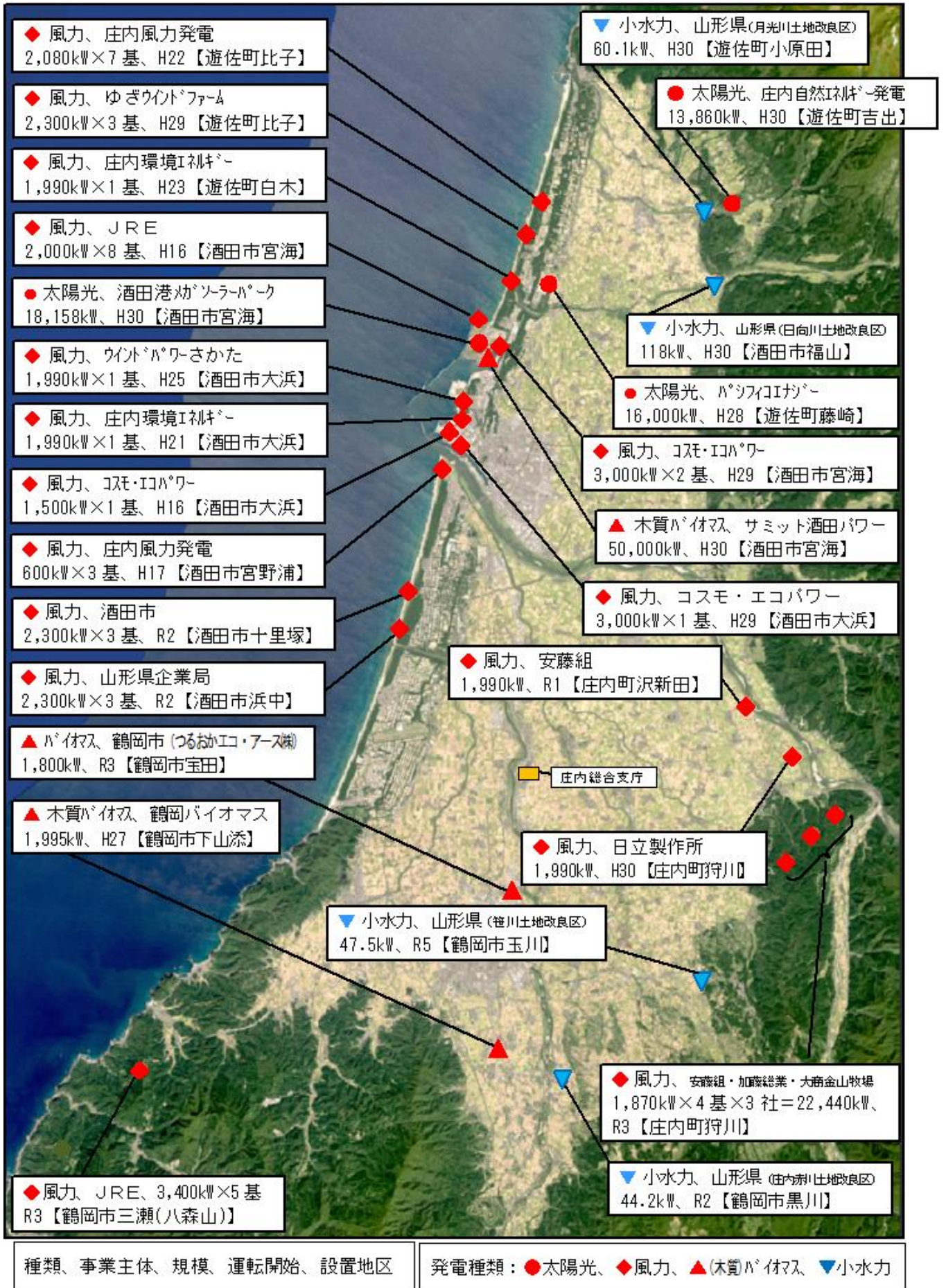
【表 8 2】再生可能エネルギーの導入状況（令和 5 年 9 月末現在）

（単位：kW）

種 別		庄 内	山 形 県
太陽光発電	10kw 未満	18,475	84,758
	10kw 以上	95,976	283,388
風力発電		115,151	122,563
水力発電		3,080	53,651
バイオマス発電		54,297	79,888

資料：経済産業省 資源エネルギー庁 調べ「エリア別の認定及び導入量」

【図26】庄内地域における再生可能エネルギー施設（主なもの）（令和6年3月末現在）



15 教育

庄内地域の小中高校の児童数及び生徒数は、少子化の傾向を反映して年々減少している状況にある。

大学等進学率（短大、通信制含む）は、県平均より低い傾向にあり、令和5年度は46.1%と県平均48.8%を2.7ポイント下回っている。

高校新規学卒県内就職率は、平成24年から上昇傾向にあり、60%以上であるものの、県平均より低い状況にある。

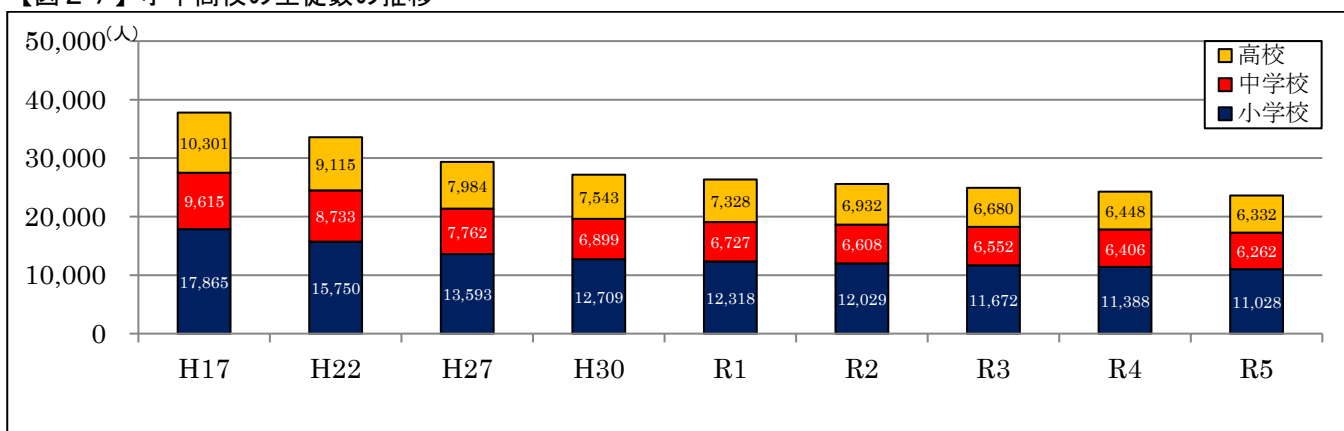
【表83】小学校・中学校・高等学校の状況（令和5年5月1日現在）

	小学校			中学校			高等学校	
	学校数	学級数	児童数	学校数	学級数	生徒数	学校数	生徒数
鶴岡市	26	300	5,533	11	130	2,955	8	3,785
酒田市	22	215	3,993	8	100	2,322	4	2,312
三川町	3	27	403	1	10	202	-	-
庄内町	5	45	847	2	26	498	1	171
遊佐町	1	21	452	1	12	285	1	64
庄内	57	608	11,028	23	278	6,262	14	6,332

※学校所在地の区分による。高等学校の生徒数に通信制の生徒数は含まれていない。

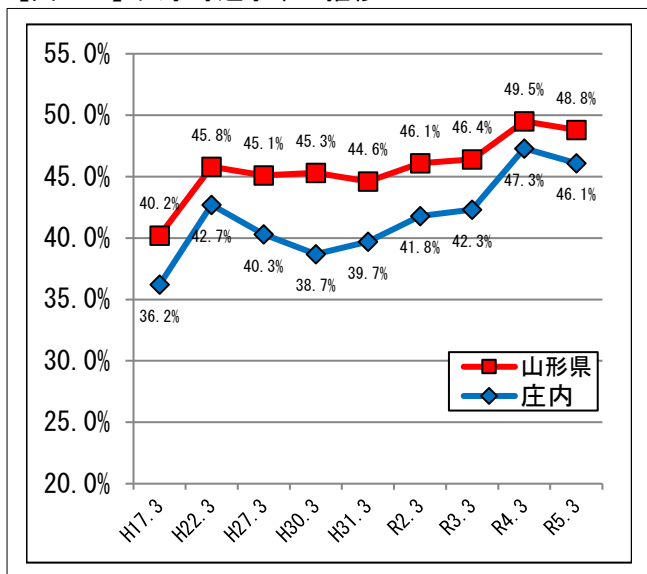
資料：みらい企画創造部統計企画課「令和5年度学校基本調査結果報告書」

【図27】小中高校の生徒数の推移

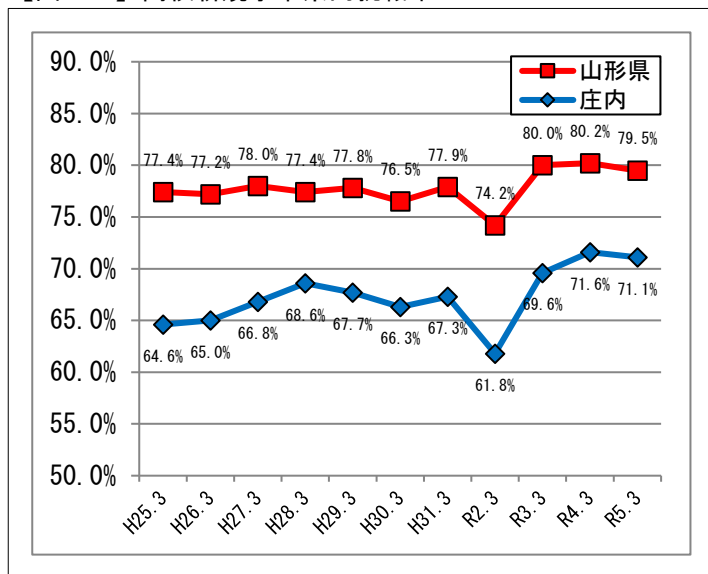


資料：みらい企画創造部統計企画課「令和5年度学校基本調査結果報告書」

【図 28】 大学等進学率の推移



【図 29】 高校新規学卒県内就職率



※大学等進学率及び高校新規学卒県内就職率については、学校所在地の区分によるものとする。
資料：【図 28・29】みらい企画創造部統計企画課「令和 5 年度学校基本調査結果報告書」

【表 8 4】 その他教育機関

学校名	開校年月日	学生・生徒数	所在地
(1) 大学等			
山形大学農学部	S25.5	687名	鶴岡市若葉町 1-23
山形大学 大学院農学研究科 (修士・博士)	S43.4	101名	
東北公益文科大学公益学部	H13.4	912名	酒田市飯森山 3-5-1
東北公益文科大学 大学院公益学研究科 (修士・博士)	H17.4	13名	鶴岡市馬場町 14-1
産業技術短期大学校庄内校	H9.4	69名	酒田市京田 3-57-4
(2) 国立高等専門学校			
鶴岡工業高等専門学校	S38.4	824名	鶴岡市井岡字沢田 104
(3) 専修学校			
鶴岡市立庄内看護専門学校	S25.3	48名	鶴岡市馬場町 2-1
酒田市立酒田看護専門学校	H22.4	83名	酒田市中町 3-7-16
酒田調理師専門学校	S46	28名	酒田市幸町 2-10-12
(4) 特別支援学校			
酒田特別支援学校	H23.4	96名	酒田市宮海字新林 307
鶴岡養護学校	S54.4	122名	鶴岡市大塚町 5-44
鶴岡高等養護学校	S61.4	45名	鶴岡市稲生 1-20-33

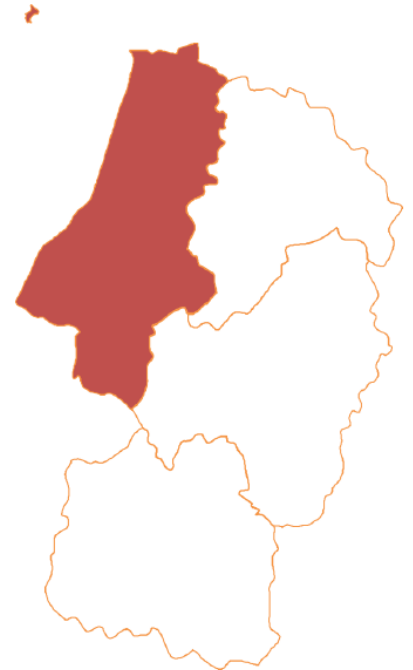
※学生数は令和 5 年 5 月 1 日現在
資料：教育庁総務課「令和 5 年度山形県学校名鑑」

16 庄内地域の発展方向

※ 第4次山形県総合発展計画から抜粋

〔地域特性〕

- 県内で唯一、2つの10万人規模の都市が隣接する地域圏が形成されている。
- 日本海に面し、豊穡の庄内平野、本県唯一の離島飛島や秀麗な鳥海山などの豊かな風土に育まれた多様で多彩な地域資源を持つ。
- 出羽三山信仰や修験道にみられる精神文化、北前船交易による湊町文化や庄内藩が育んだ城下町文化、時代を超えて広く根付く「公益」の精神などが連綿と継承されている。
- 東北公益文科大学や山形大学農学部をはじめ、鶴岡工業高等専門学校や産業技術短期大学校庄内校等の多様な高等教育機関がコンパクトに立地している。
- 多彩な食材と歴史・風土が育んだ食文化を地域内外に発信する「食の都庄内」の取組みにより、「食」のブランド価値が大きく高まっている。
- 慶應義塾大学先端生命科学研究所を核として、世界をリードするバイオサイエンス関連産業の集積が加速している。
- 庄内空港と酒田港の2つの「港」を擁し、世界につながる「空」と「海」のゲートウェイ機能が集積している。



〔発展方向（目指す姿）〕

- 誰もが安心して暮らすことができ、誰もがいきいきと活躍できる地域コミュニティが形成されている。
- ものづくりから農業に至るまで、全ての産業分野にわたるイノベーションにより、地域経済が持続的に発展している。
- 先人が育んできた精神文化や食文化、豊かな自然環境などの強みを活かし、空と海の2つのゲートウェイを起点として「人」と「モノ」の交流がグローバルな規模で展開されている。

〔地域の発展に向けた主な取組み〕

(i) 「庄内」の人々の暮らしを支える活力あふれる地域コミュニティの形成

- オール庄内で「シビックプライド＝郷土への誇り」を醸成するための体験プログラムを展開するなど、若者の地元定着促進に向けた取組みを強化していく。
- 庄内で活躍する若者との協働による庄内地域の魅力・企業情報発信の強化等、ふるさと回帰促進のための取組みを加速していく。
- 若者や女性が活躍し、自己実現が可能となる環境づくりを進めるとともに、高齢者が経験・知恵を活かし生きがいを持って活躍できる地域づくりを推進していく。

(ii) 「庄内」の強みを活かした高い付加価値を創出する産業群の形成

- バイオサイエンスをはじめとする先端技術分野における産業集積を加速していくとともに、新たな価値を生み出すチャレンジやICTの活用等による生産性の向上、新たなマーケットの開拓など、全ての産業分野にわたるイノベーションを促進していく。
- 多彩な食材と料理人の技が創り出す「食の都庄内」のブランド価値をさらに磨き上げ、「食」を基軸とする多様な交流の拡大につなげていくための取組みを強化していく。
- 庄内空港や酒田港などのゲートウェイ機能を活用した「人」と「モノ」の交流拡大に向け、インバウンドや地域産品の輸出拡大、外航クルーズ船の誘致などの取組みを推進していく。

(iii) 「庄内」の交流・発展を支える社会基盤の形成

- 日本海沿岸東北自動車道の秋田・新潟両県境部未供用区間の早期整備とともに、地域高規格道路も含めた格子状ネットワークの早期実現に向け、隣県等と連携した活動を強化していく。
- 庄内空港、酒田港の利用拡大を推進するとともに、機能強化に向けたオール庄内による取組みを加速していく。
- 洋上を含めた風力発電の開発を通じた地域経済の活性化や、木質バイオマス等地域資源の活用によるエネルギーの地産地消を促進していく。

17 管内市町一覧

【表85】首長、議員定数等

市 町	首長 R5. 4. 1 現在 (任期満了日)	議員定数 (任期満了日)	市町村制 施行年月日	ホームページアドレス
鶴岡市	皆川 治 (R7. 10. 22)	28人 (R7. 10. 22)	H17. 10. 1	http://www.city.tsuruoka.lg.jp/
酒田市	矢口 明子 (R9. 9. 5)	25人 (R7. 11. 12)	H17. 11. 1	http://www.city.sakata.lg.jp/
三川町	阿部 誠 (R9. 2. 9)	10人 (R7. 2. 26)	S43. 6. 1	http://www.town.mikawa.yamagata.jp/
庄内町	富樫 透 (R7. 7. 30)	14人 (R8. 6. 30)	H17. 7. 1	http://www.town.shonai.lg.jp/
遊佐町	松永 裕美 (R10. 3. 23)	12人 (R9. 6. 30)	S29. 8. 1	http://www.town.yuza.yamagata.jp/

資料：みらい企画創造部市町村課「山形県市町村概要（令和5年刊）」

【表86】令和6年度当初予算の状況（一般会計）

（単位：百万円）

	令和6年度当初予算	令和5年度当初予算	増減率(%)
鶴岡市	73,670	70,700	4.2%
酒田市	56,250	55,200	1.9%
市 計	129,920	125,900	3.2%
三川町	5,002	5,039	-0.7%
庄内町	12,150	12,570	-3.3%
遊佐町	9,049	8,387	7.9%
町 計	26,201	25,996	0.8%
庄内計	156,121	151,896	2.8%

資料：各市町予算書

【表 8 7】令和 4 年度決算の状況（普通会計）

（単位：百万円、％）

		歳入 総額	歳出 総額	形式 収支	実質 収支	財政力 指数	標準 財政 規模	地方債 現在高	積立金 現在高	經常 収支 比率	実質 公債費 比率	将来 負担 比率
鶴岡市	R4決算	77,546	75,761	1,785	1,737	0.42	39,940	76,828	17,587	94.9	6.7	40.8
	R3決算	79,466	77,256	2,210	2,172	0.42	40,409	79,799	17,488	89.6	6.1	44.8
	増減率	-2.4%	-1.9%	-19.2%	-20.0%	0.0%	-1.2%	-3.7%	0.6%	5.9%	9.8%	-8.9%
酒田市	R4決算	61,848	60,128	1,720	1,611	0.48	29,316	52,297	10,730	98.2	10.0	16.8
	R3決算	67,138	64,916	2,222	1,936	0.49	30,209	56,533	10,155	90.2	10.1	28.8
	増減率	-7.9%	-7.4%	-22.6%	-16.8%	-2.0%	-3.0%	-7.5%	5.7%	8.9%	-1.0%	-41.7%
三川町	R4決算	5,650	5,303	347	347	0.37	2,965	6,056	1,554	84.9	9.8	105.9
	R3決算	6,126	5,810	316	311	0.39	3,010	6,096	1,348	80.9	10.6	111.5
	増減率	-7.8%	-8.7%	9.8%	11.6%	-5.1%	-1.5%	-0.7%	15.3%	4.9%	-7.5%	-5.0%
庄内町	R4決算	13,719	12,781	937	872	0.30	7,404	15,158	5,829	95.9	10.8	26.6
	R3決算	13,756	12,908	848	800	0.30	7,653	15,668	5,579	90.8	11.0	32.9
	増減率	-0.3%	-1.0%	10.5%	9.0%	0.0%	-3.3%	-3.3%	4.5%	5.6%	-1.8%	-19.1%
遊佐町	R4決算	10,543	9,909	634	533	0.29	5,224	9,537	3,206	88.3	10.7	61.4
	R3決算	11,514	10,917	598	543	0.30	5,391	9,807	3,188	82.6	9.9	60.8
	増減率	-8.4%	-9.2%	6.0%	-1.8%	-3.3%	-3.1%	-2.8%	0.6%	6.9%	8.1%	1.0%
庄内計	R4決算	169,306	163,882	5,423	5,100	0.37	84,849	159,876	38,906	92.4	9.6	50.3
	R3決算	178,000	171,807	6,194	5,762	0.38	86,672	167,903	37,758	86.8	9.5	55.8
	増減率	-4.9%	-4.6%	-12.4%	-11.5%	2.7%	-2.1%	-4.8%	3.0%	6.5%	1.1%	-9.9%

※庄内計欄の各種割合は単純平均。

資料：みらい企画創造都市町村課「山形県市町村概要」（令和 5 年刊）

【表 8 8】地域指定の状況

市 町	1 豪雪	2 過疎	3 山村	4 離島	5 辺地	6 電源	7 リゾート	8 水源	9 拠点 都市	10 特定 農山村	11 企業 立地
鶴岡市	○ ※一部◎	○ みなし	△ ※一部		○	○	○ ※一部		○	△	○
酒田市	○ ※一部◎	○ ※一部	△ ※一部	※○	○	○			○	△	○
三川町						○			○		○
庄内町	○ ※一部◎	○	△ ※一部		○	○			○	△	○
遊佐町		○			○	○			○		○

※

1 豪雪地帯対策特別措置法（◎特別豪雪地帯）

※県内全市町村が豪雪地帯。特別豪雪地帯は、鶴岡市の旧羽黒町、旧櫛引町、旧朝日村、酒田市の旧八幡町、庄内町の旧立川町の区域

2 過疎地域自立促進特別措置法

※酒田市は、旧八幡町、旧松山町、旧平田町の区域

3 山村振興法

※旧市町村単位の指定

4 離島振興法

※酒田市飛島

5 辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律

6 発電用施設周辺地域整備法

7 総合保養地域整備法

※旧朝日村の区域

8 水源地域対策特別措置法

9 地方拠点都市地域の整備及び産業業務施設の再配置の促進に関する法律

10 特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律

（△一部指定）

11 地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律

資料：みらい企画創造部市町村課「山形県市町村概要（令和5年刊）」

18 年 表

【表 89】庄内の主なできごと

年		月 / できごと	
和銅 5	712	越後国より分離して出羽国成立	
慶長 6	1601	庄内、最上義光領となる	
元和 8	1622	酒井忠勝、庄内に入部、13 万 8 千石	
元禄 2	1689	松尾芭蕉、庄内に来る	
宝暦 8	1758	この頃より本間家三代光丘 砂丘地の植林に着手、公益家として知られる	
明治 1	1868	9 / 戊辰の役治まる。酒田に民生局を置き、旧幕領、旧藩没収地を管轄	
	2	1869	7 / 酒田民生局を廃して酒田県を置く。この年庄内大凶作
	4	1871	7 / 廃藩置県、現在の山形県は 7 県に分立
	8	1875	8 / 酒田県庁を鶴岡に移し鶴岡県と改称
	9	1876	8 / 山形、鶴岡、置賜の 3 県を合併、山形県とする。初代県令三島通庸
	26	1893	10 / 酒田米穀取引所（山居倉庫）設立
	27	1894	10 / 酒田大地震、死者 739 人
	30	1897	4 / 酒田商業会議所設立
大正 3	1914	12 / 陸羽西線 新庄～酒田間開通	
	7	1918	1 / 大鳥鉦山で大雪崩、死者 154 人
	8	1919	羽越線県内開通（大正 13 年・1924 年全通） 10 / 鶴岡工業試験場設置
	13	1924	10 / 鶴岡市制施行
昭和 4	1929	7 / 鶴岡商工会議所設立	
	8	1933	8 / 酒田市制施行
	12	1937	鉄興社が大浜工業地帯に進出 3 / 山形県酒田港事務所設置
	17	1942	7 / 県の出先機関として 8 地方事務所を置く
	22	1947	8 / 昭和天皇御巡幸
	24	1949	5 / 県立農林専門学校が山形大学農学部となる
	28	1953	6 / 庄内経済農業協同組合連合会設立
	38	1963	4 / 国立鶴岡高等工業専門学校開校 7 / 鳥海国定公園指定
	39	1964	6 / 新潟地震発生、庄内地方被害甚大
	44	1969	4 / 庄内支庁開設
	45	1970	米の生産調整始まる
	47	1972	6 / 出羽大橋完成（東北最長）
	48	1973	11 / 鳥海ブルーライン開通 11 / 鶴岡中央工業団地完成
	49	1974	3 / 鳥海山小爆発 11 / 酒田北港開港式
	51	1976	10. 29 / 酒田市大火、1, 774 棟焼失、罹災者 3, 300 人
	52	1977	1 / 住軽アルミ電解炉本格操業 10 / 酒田共同火力操業開始
	54	1979	3 / 庄内ナンバー始動
	56	1981	7 / 国道 112 号月山新道開通
	58	1983	5 / 日本海中部地震 6 / 酒田北港五万トン岸壁供用開始

年		月 / できごと
平成 3	1991	10 / 庄内空港開港（東京、大阪線各 1 便）
4	1992	5 / 酒田港「東方水上シルクロード」開設 9 / ベにばな国体開催
5	1993	6 / 県立日本海病院開院
7	1995	5 / 酒田港「酒田－釜山定期コンテナ航路」開設 6 / 庄内空港「庄内－札幌便」就航
9	1997	4 / 産業技術短大校庄内校開校 10 / 東北横断自動車道酒田線「庄内あさひ－酒田間」開通
10	1998	4 / 鶴岡中央高等学校開学（鶴岡家政高と鶴岡西高統合）
12	2000	7 / 酒田港国際ターミナル供用開始 9 / 東北横断自動車道酒田線「湯殿山－庄内あさひ間」開通
13	2001	4 / 庄内総合支庁発足 4 / 東北公益文科大学開学 5 / 慶応義塾大学先端生命科学研究所開所 8 / 東北横断自動車道酒田線「酒田－酒田みなと間」開通 10 / 月山ダム、田沢川ダム完成。庄内広域水道供給開始
14	2002	4 / 生涯学習施設「里仁館」開学 6 / 天皇・皇后両陛下下行幸啓
15	2003	10 / 第 18 回国民文化祭開催
16	2004	4 / 庄内空港「庄内－大阪便」が通年運航
17	2005	4 / 東北公益文科大学大学院開設 7 / 庄内町誕生（余目町、立川町が合併） 10 / 新鶴岡市誕生（鶴岡市、藤島町、羽黒町、櫛引町、朝日村、温海町が合併） 11 / 新酒田市誕生（酒田市、八幡町、松山町、平田町が合併） 12 / JR 羽越本線特急いなほ脱線事故発生
18	2006	5 / 県産品の「山形セレクション」認定制度開始
19	2007	11 / 鳥海山大物忌神社境内が国史跡指定
20	2008	4 / 酒田市の県立日本海・市立酒田両病院が統合し日本海総合病院が誕生 10 / 鶴岡市の上池・下池がラムサール条約登録
21	2009	2 / 庄内地方を舞台にした映画「おくりびと」が第 81 回米国アカデミー賞外国語映画賞を受賞 3 / 羽黒山杉並木が「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」に三ツ星掲載 4 / 鶴岡市七五三掛地区で地すべり災害発生 4 / 鶴岡市立藤沢周平記念館開館 5 / 鶴岡まちなかキネマ開館
22	2010	8 / 酒田港が重点港湾に選定 10 / つや姫が市場に本格デビュー
23	2011	11 / 酒田港が「日本海側拠点港」のリサイクル貨物機能に選定 3 / 日本海沿岸東北自動車道「温海－鶴岡間」開通
24	2012	4 / 酒田光陵高等学校開校（酒田商業、酒田工業、酒田北、酒田中央高統合） 4 / 加茂水族館のくらの展示種類数がギネス記録に認定 12 / 庄内空港でオーバーラン発生
25	2013	5 / 日本海沿岸東北自動車道「遊佐－象潟間」「あつみ温泉－朝日まほろば間」の新規事業化決定 10 / 映画「おしん」（全編を庄内地域を含む県内で撮影）公開
26	2014	6 / 加茂水族館がリニューアルオープン 12 / 鶴岡市がユネスコ創造都市ネットワークに食文化分野で登録
27	2015	3 / 県立鶴岡病院が移転改称し、県立こころの医療センターとして開院
28	2016	4 / 出羽三山 自然と信仰が息づく「生まれかわりの旅」日本遺産認定 9 / 鳥海山・飛島ジオパークが日本ジオパークに認定

年		月 / できごと
平成 29	2017	4 / 鶴岡サイエンスパーク内に国立がん研究センターの研究拠点「がんメタボロミクス研究室」開所 4 / 「サムライゆかりのシルクのまち 鶴岡」、「北前船寄港地 船主集落 酒田」日本遺産認定
30	2018	3 / 国道 47 号「余目酒田道路」全線開通 8 / 8 月に 4 度の大雨洪水警報発令 記録的な豪雨 12 / 遊佐・アマハゲなど「来訪神」ユネスコ文化遺産登録決定
令和元	2019	6 / 山形県沖地震発生（震度：鶴岡市 6 弱、酒田市・三川町 5 弱、庄内町・遊佐町 4） 8 / 庄内空港「庄内－成田便」就航開始（ジェットスター・ジャパン）
令和 2	2020	7 / 令和 2 年 7 月豪雨発生 8 / 酒田港国際ターミナル拡張部供用開始 11 / 主要地方道鶴岡羽黒線「羽黒山バイパス」全線開通 12 / 日本海沿岸東北自動車道「酒田みなと～遊佐比子」開通
令和 3	2021	6 / 東京オリンピック聖火リレー（山形県内） 8 / 東京パラリンピック聖火リレー（山形県内）
令和 4	2022	8 / 「山の日」全国大会やまがた 2022（山形県内）北海道・東北地方で初開催 12 / 鶴岡市西目地区の土砂崩れ災害発生
令和 6	2024	3 / 日本海沿岸東北自動車道「遊佐比子～遊佐鳥海」開通

資料：「山形県勢要覧」、「酒田市史年表改訂版」、「庄内人名辞典」ほか

